

LoRa-Private通信ソフトウェア

# SimpleMAC-429・取り扱い説明書



Ver1.0.0

# 改版履歴

| 更新日付      | rev   | 内容   | page | 作成者 |
|-----------|-------|------|------|-----|
| 2025-9-10 | 1.0.0 | 新規作成 |      |     |
|           |       |      |      |     |
|           |       |      |      |     |
|           |       |      |      |     |
|           |       |      |      |     |
|           |       |      |      |     |
|           |       |      |      |     |
|           |       |      |      |     |
|           |       |      |      |     |
|           |       |      |      |     |
|           |       |      |      |     |
|           |       |      |      |     |

## [1. はじめに](#)

## [2. SimpleMACstdの概要](#)

## [3. SimpleMAC429の特長](#)

### 3.1 主要機能

## [4. SimpleMAC429の基本動作](#)

- 4.1 電源投入からシステムスタートまでの流れ
- 4.2 システムの自動スタート方法～DipSwlによる自動スタート（Ver4.2の開発ボードをご使用の場合）
- 4.3 システムの自動スタート方法～キー入力による自動スタート
- 4.4 システムの自動スタート方法詳細

## [5. 変調方式の選択](#)

## [6. コンフィグレーション項目一覧](#)

- 6.1 LoRaモード基本メニュー
- 6.2 LoRaモード コンフィグレーション
- 6.3 FSKモード基本メニュー
- 6.4 FSKモード コンフィグレーション

## [7. コンフィグレーション項目・詳細](#)

- 7.1 使用CH番号の設定コマンド（‘a’ コマンド）
- 7.2 ネットワークアドレス、PANアドレスの設定コマンド（‘b’ ‘c’ ‘d’ コマンド）
- 7.3 ユニットモード設定コマンド（‘e’ コマンド）
- 7.4 ルーティングモード設定コマンド（‘f’ コマンド）
- 7.5 無線詳細設定コマンド（‘g’ コマンド）【LoRaモード】
- 7.6 無線詳細設定コマンド（‘g’ コマンド）【FSK/GFSKモード】
- 7.7 ACK設定コマンド（‘h’ コマンド）
- 7.8 送信モード設定コマンド（‘i’ コマンド）
- 7.9 タイマースリープモード設定コマンド（‘j’ コマンド）
- 7.10 UART設定コマンド（‘k’ コマンド）
- 7.11 受信パケット表示モード設定コマンド（‘l’ コマンド）
- 7.12 キャリアセンス設定コマンド（‘m’ コマンド）
- 7.13 AES設定コマンド（‘n’ コマンド）
- 7.14 低レベルノイズフィルタ機能コマンド（‘q’ コマンド）
- 7.15 デバッグメッセージ設定コマンド（‘t’ コマンド）
- 7.16 CPU製造コード読み出しコマンド（‘u’ コマンド）
- 7.17 E2ROM設定コマンド（‘y’ ‘x’ ‘z’ コマンド）
- 7.18 ブロードキャスト再発報コマンド（‘w’ コマンド）
- 7.19 自動中継接続フィルタ設定コマンド（‘r’ コマンド）

- 7.20 デバイスタイプの読み出しコマンド（‘!’ コマンド）
- 7.21 トランシーバリセット機能の有効/無効設定（‘&’ コマンド）

## [8. フレームフォーマット（全モード共通）](#)

- 8.1 エアフォーマット
  - 8.1.1 標準エアフォーマット（拡張PAN不使用時）
  - 8.1.2 拡張PANエアフォーマット
- 8.2 UART入力フォーマット（フレームモード）
- 8.3 UART出力フォーマット・出荷時設定の場合
- 8.4 UART出力フォーマット・送信元アドレス出力設定の場合
- 8.5 UART出力フォーマット・送信元アドレス+中継アドレス出力設定の場合

## [9. ATコマンド機能（AT-command-mode時）](#)

- 9.1 コマンドフォーマット ※SimpleMAC92X\_ver2.0以降に対応
- 9.2 コマンド種別一覧表 ※同上

## [10. サンプルプログラムの設定例](#)

- 10.1 コンフィグレーション設定例 ～ 単純なシリアルデータの送受信
- 10.2 コンフィグレーション設定例 ～ 単純なシリアルデータの 1:Nによる構築
- 10.3 コンフィグレーション設定例 ～ 1:Nによる子機指定通信
- 10.4 コンフィグレーション設定例 ～ 経路指定通信を含む 1:Nによる子機指定通信
- 10.5 コンフィグレーション設定例 ～ AutoRoutingによる送信設定
- 10.6 中継試験用開発キットの出荷時設定を利用した中継機能の確認方法

## [11. SimpleMACステータスコード一覧](#)

- 11.1 データ送信リターンステータス一覧表（デバッグ出力ON:TEXT時）
- 11.2 データ送信リターンステータス一覧表（デバッグ出力ON:CODE時）
- 11.3 ATコマンドモード時の戻り値一覧表

## [12. SimpleMAC自動中継機能について](#)

- 12.1 概要
- 12.2 自動中継接続の設定
- 12.3 自動中継接続の仕組み
- 12.4 自動中継接続通信イメージ
- 12.5 自動中継による下り通信イメージ
- 12.6 自動中継接続概念図
- 12.7 自動中継接続概念図・子機①から親機への接続要求
- 12.8 自動中継接続概念図・子機②の電源ONから親機への接続要求
- 12.9 自動中継接続概念図・子機②の電源ON
- 12.10 自動中継接続概念図・子機②のネットワーク参加完了
- 12.11 自動中継接続概念図・子機③の電源ON
- 12.12 自動中継接続概念図・子機③のネットワーク参加完了

## [13. 自動起動時の出力ダンプメッセージ詳細説明](#)

# 目次

# 1.はじめに

本書は、弊社が独自開発した400MHz帯のLoRa・FSK・GFSKの変調方式に対応した通信プロトコルスタック＜SimpleMAC429シリーズ＞の取り扱い説明書になります。

本書では、SimpleMAC429の特長・機能、基本動作、設定例等について取り上げ、説明していきます。

429MHz無線は、1回あたりの送信パケットサイズに制限はありませんので、920MHzなどの10%ルールなどのような送信データ量制限が無くデータを連続で出し続ける事が出来ます。

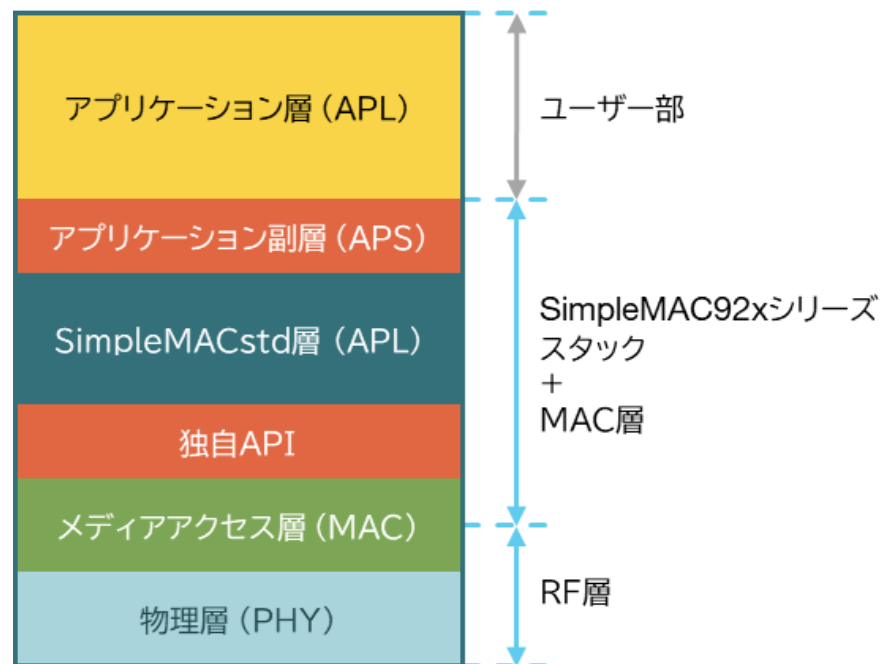
RF内部のFIFOサイズの制約上、1パケットに搭載可能なサイズは最大で228byteです。

## 2.SimpleMAC429の概要

SimpleMAC429は、弊社の独自開発プロコルスタックです。

外部にホストマイコン、又はPCなどから送受信するデータをUARTでI/Fすることを前提としていますが、RM-92A 及び RM-92C内蔵のA/DやSPIなどからのデータを受信させて、スタンドアロンで送信することも可能です。

図1 基本モデル



# 3.SimpleMAC429の特長

## 3.1 主要機能

SimpleMAC429の基本的な動作は、モジュール内蔵のUARTデバイスを使用して、外部のホストマイコン 又は、パソコンと相互通信することを前提としています。

ソースコードはRF部の一部以外は原則公開しておりますので、ソフトウェアを独自に改造していただくことにより、内蔵される各種コントローラ（A/D、SPI、I2C、UARTCなど）を利用した無線システムの開発も可能です。

| 項目               | 機能                 |
|------------------|--------------------|
| LoRa変調モード        | 長距離通信用時            |
| LoRa変調SF12モード    | 超長距離通信用            |
| FSK変調モード         | 高速通信用              |
| GFSK変調モード        | 高速通信用              |
| AES暗号化機能         | AES128             |
| 自動ルーティング機能       | メッシュネットワーク         |
| スリープ機能           | 標準ソフトではATコマンドで制御可能 |
| 送信パワー10mW(10dBm) | 10段階で設定可能          |

### LoRa変調モード

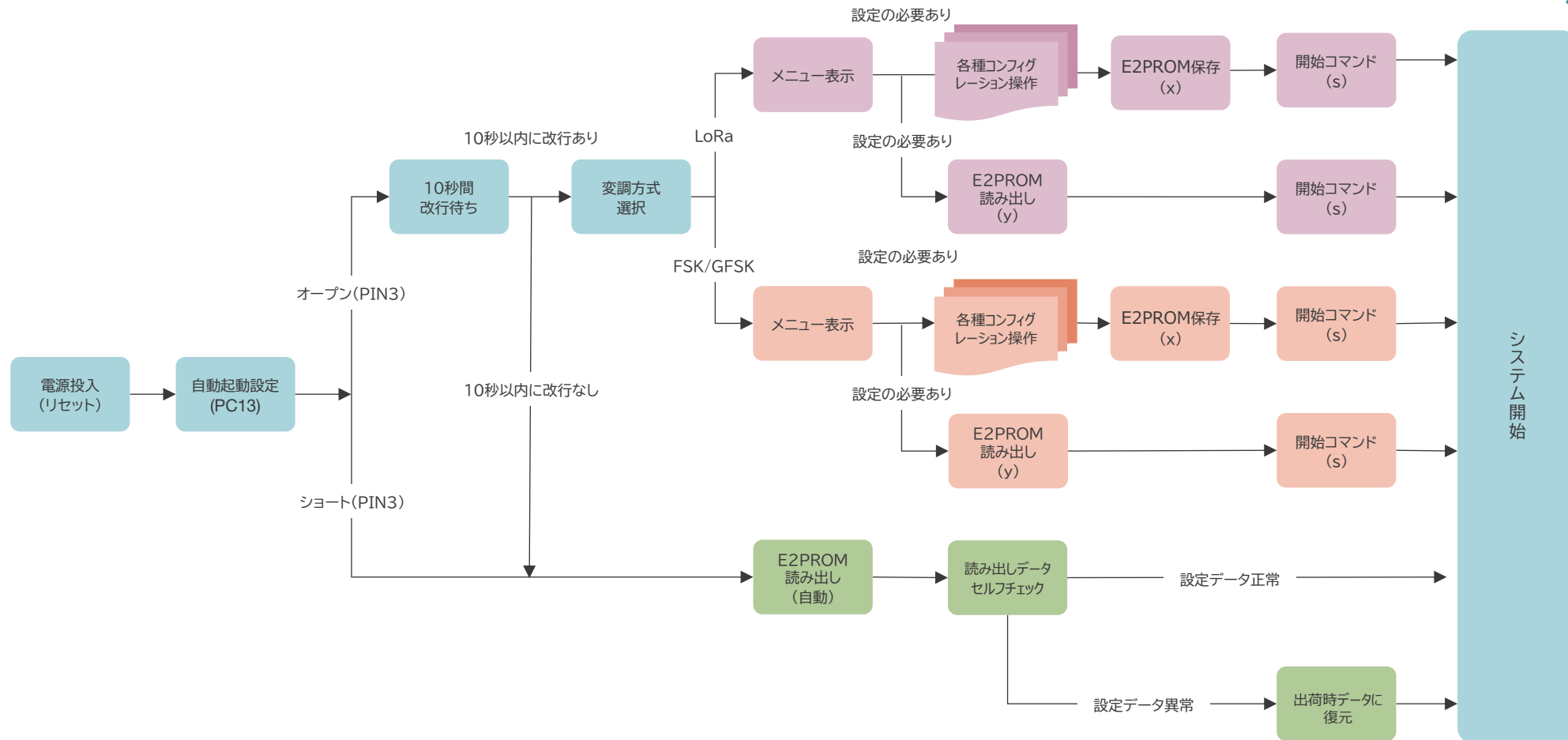
通信速度は遅いですが、受信感度に優れ長距離通信に向いています。

### FSK / GFSK変調モード

通信速度が最大300Kbpsまで設定が可能です。  
通信距離が2km未満で比較的リアルタイム性が必要な高速通信に適しています。

# 4.SimpleMAC429の基本動作

## 4.1 電源投入からシステムスタートまでの流れ



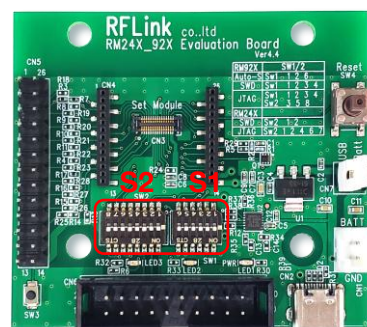
# 4.SimpleMAC429の基本動作

## 4.2 システムの自動スタート方法～DipSwによる自動スタート（Ver4.2、Ver4.4の開発ボードをご使用の場合）

電源投入時、自動的にE2PROMの内容を読み出してスタートさせることができます。

自動スタートさせる場合は、S1のDipSwの1番をONにしてください。

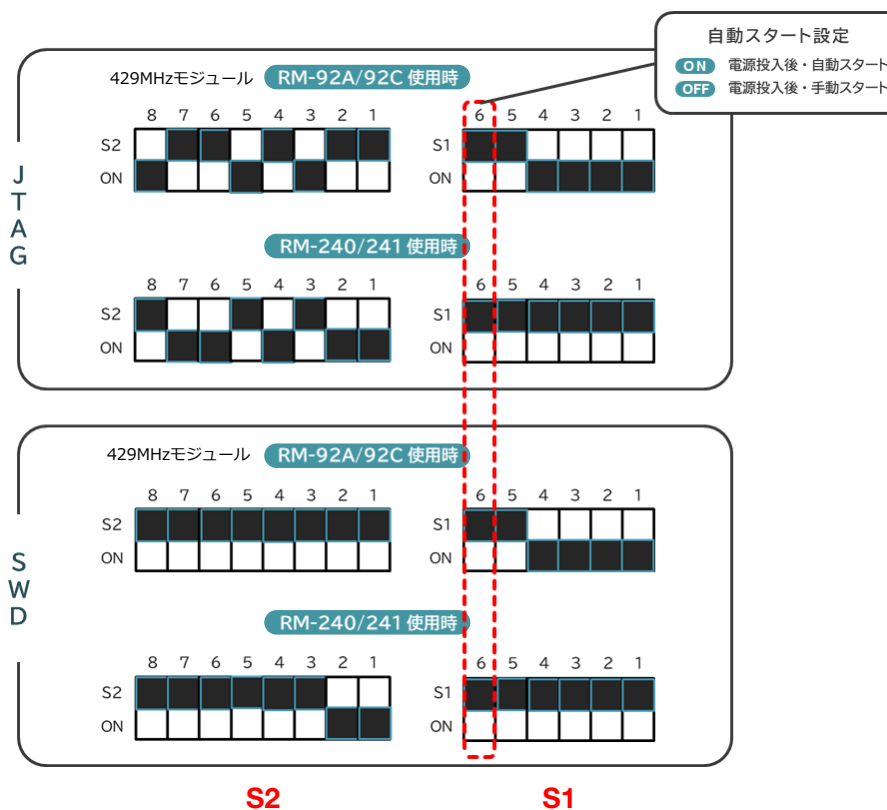
※ボードのバージョンにより自動スタートの方法は異なります。詳しくは開発環境構築ガイドをご確認ください。



ver4.4 EV  
ボード



ver4.2 EV  
ボード



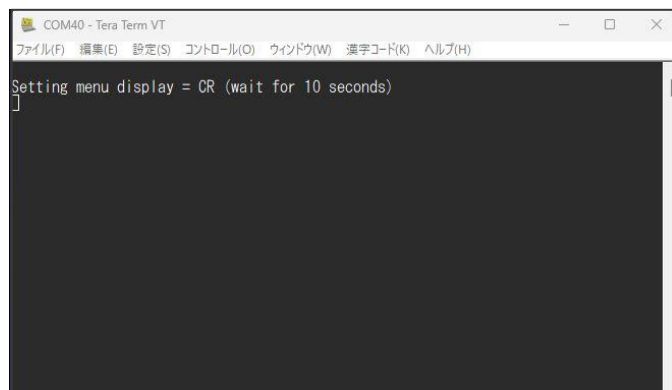


# 4.SimpleMAC429の基本動作

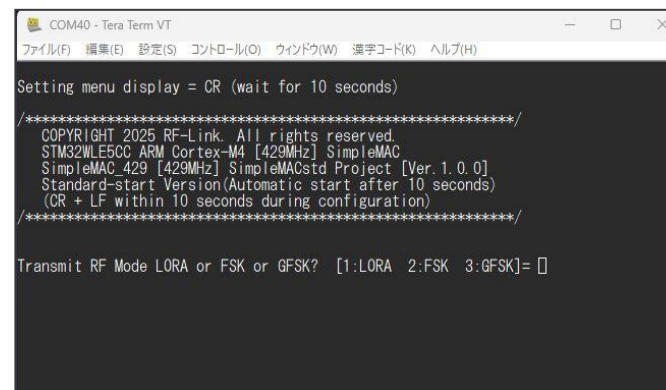
## 4.3 システムの自動スタート方法～キー入力による自動スタート

電源投入後に10秒以内にUARTから改行(CR+LF)を入力することで設定メニューを開くことができます。

電源投入後、10秒間 CR+LF入力が無い場合、LPWAモジュール内部FlashROMに保存されている設定情報を自動的に読み出してシステムがスタートします。



上図は、DipSw設定による自動起動がOFF 又は、RM-92X USB等をPCに接続した状態で起動した場合にPCとシリアル接続した際に表示される画面です。



上図は10秒以内にPCの改行キーを押した場合に表示される画面です。

# 4.SimpleMAC429の基本動作

## 4.4 システムの自動スタート方法詳細

SimpleMAC-429では、事前に内部フラッシュメモリに設定した内容で自動スタートをさせることができます。

### 使用方法

4.2項、4.3項 のように、DipSW又はジャンパ設定により、自動スタート設定を有効にします。

### 手順例

- ① Ver4.1以上の開発ボードの場合は、S1の1番をONにします。(Ver4.0未満の場合：PIN1とPIN3をオープンの状態にします)
- ② PCとRM-24X/92X\_EVをUSBケーブルで接続します。
- ③ PCでteratermなどのシリアルターミナルソフトウェアを起動します。※シリアル設定：通信速度/115200 data/8 stop-bit/1 Parity/なし フロー/なし
- ④ 基板のリセットボタンを押します。
- ⑤ オープニングメニューが表示されます。(6.1項、6.3項参照)
- ⑥ 各種設定パラメータを変更します。
- ⑦ Xコマンドで設定情報を保存します。
- ⑧ Ver4.1以上の開発ボードの場合は、S1の1番をOFFにします。(Ver4.0未満の場合：PIN1とPIN3をショートの状態にします)
- ⑨ 基板のリセットボタンを押下するか、電源の抜き差しを行います。
- ⑩ 上記⑥の内容で設定した内容で自動スタートします。

# 5.変調方式の選択

リセット後、最初に変調方式を選択します。



```
COM40 - Tera Term VT
ファイル(F) 編集(E) 設定(S) コントロール(O) ウィンドウ(W) 漢字コード(K) ヘルプ(H)

Setting menu display = CR (wait for 10 seconds)

/*****/
COPYRIGHT 2025 RF-Link. All rights reserved.
STM32WLE5CC ARM Cortex-M4 [429MHz] SimpleMAC
SimpleMAC_429 [429MHz] SimpleMACstd Project [Ver.1.0.0]
Standard-start Version(Automatic start after 10 seconds)
(CR + LF within 10 seconds during configuration)
/*****/

Transmit RF Mode LORA or FSK or GFSK? [1:LORA 2:FSK 3:GFSK]=
```

Teraterm キャプチャ画面

## FSKモード

無線の通信速度を1.2Kbps～300Kbpsの範囲で設定することができます。リアルタイム性を生かした高速無線通信に適していますが、通信距離がLoRaモードに比べて短くなります。

## GFSKモード

基本的にはFSKモードと同じ仕様で 사용할 수 있습니다。FSKモードよりもbitエラーの発生率が低く安定しますが、FSKと同一のビットレート設定をした場合に実行スループット性能が低下します。

## LoRaモード

無線の通信速度をSF6～SF12モードとBWモードとの組み合わせにより、約229bps～37.5Kbpsの範囲で設定を行うことができます。長距離通信に適していますが、通信速度が遅くなります。

# 6.コンフィグレーション項目一覧

## 6.1 LoRaモード基本メニュー

LoRaモードを選択すると、右図の基本メニューが表示され、a～z のコマンドにより各設定パラメータの編集を行うことができます。

何も編集しない場合は、デフォルト値で起動します。  
[?] を入力することで、設定状況を確認することが出来ます。

```
COM40 - Tera Term VT
ファイル(F) 編集(E) 設定(S) コントロール(C) ウィンドウ(W) 送字コード(K) ヘルプ(H)

Setting menu display = CR (wait for 10 seconds)

/*****
COPYRIGHT 2025 RF-Link. All rights reserved.
STM32WL55C ARM Cortex-M4 (42MHz) SimpleMAC
SimpleMAC 429 [429MHz] SimpleMACstd Project [Ver. 1.0.0]
Standard-start Version(Automatic start after 10 seconds)
(CR + LF within 10 seconds during configuration)
*****/

Transmit RF Mode LORA or FSK or GFSK? [1:LORA 2:FSK 3:GFSK]= 1

Input Command Choice >>>

***** SimpleMACstd-429 Command List [LORA Mode] *****
[a] : Channel No Set [7 - 46]
[b] : PAN Address Enable [0:Not Use 1:Use]
[c] : SRC-Address Set [1 - 65534]
[d] : DST-Address Set [1 - 65535]
[e] : Routing Mode [0:Fixation 1:AutoRouting]
[f] : RF Settings
    [1:TX-Power Set]
    [3:Factor (SF) Set 4>Error Coding Set]
    [5:Optimize Set]
[h] : Ack Request Set [0:Not Use 1:Use]
[i] : Data Transfer Mode [0:Discharge 1:Frame 2:TimerSend]
    [6:Output ambient noise]
    [7:Continuous modulated transmission]
    [8:Continuous unmodulated transmission]
    [9:AT-Command Mode]
[j] : Sleep Mode [0:Not Use 1:Use]
[k] : UART BaudRate Set [0:4800 1:9600 2:14400 3:19200 4:38400]
    [5:57600 6:115200 7:230400 8:460800 9:921600]
[l] : Recv Packet Output Set
    [1:RSSI Output Set]
    [2:Transfer (SRC) Address Output Set]
    [3:CR+LF Output]
    [4:Recv Data Length Output Set]
    [5:Recv Data Output Code Set]
[m] : Carrier Sense Set [0:Not Use 1:Use]
[n] : RF-Data AES KEY [0:Not Use 1:Use]
[o] : Low-level noise filter function [0:Not Use 1:Use]
[p] : Connect Recv RSSI Threshold Set [-137 to 0]
[q] : System Start [0:OFF 1:ON(TEXT) 2:ON(CODE)]
[r] : Debug Print Output
[s] : Unique Device ID Read
[t] : Software Reset
[u] : Broadcast Data Hopping Mode [0:Unconditional 1:Conditional 2:No Hopping]
[v] : Setting Data EEPROM Save
[w] : Setting Data EEPROM Read
[x] : EEPROM Configuration Data Default Set (Reset it)
[y] : Read Module Type
[z] : State Indication
[Ctrl+A] : CarrierSense RSSI Threshold Set
Help : Return

Please input >[
```

図1 LoRaモード基本メニュー

```
COM40 - Tera Term VT
ファイル(F) 編集(E) 設定(S) コントロール(C) ウィンドウ(W) 送字コード(K) ヘルプ(H)

***** [Stack version] *****
NST-429 [429MHz] SimpleMACstd Project [Ver. 1.0.0]
Standard-start Version(Automatic start after 10 seconds)
(CR + LF within 10 seconds during configuration)

***** [Settings] *****
[*] RF Mode : [LORA]
[Ctrl+A] CS RSSI Threshold : [FSK]
[a] RF-Channel : [7] (Frequency[429250000Hz])
[b] PAN-ID : [Enable] PAN-ID[0x1234]
    EXPAND-PAN Address ENABLE : [Disable]
    EXPAND-PAN Address : [0x1B 0x00 0x1A 0x00 0x03 0x50]
    [0x53 0x4E 0x4B 0x39 0x34 0x20 ]
[c] SRC-ID : [0x0001]
[d] LAST-DST-ID : [0x0000]
[e] Routing Mode : [Non-Routing]
[f] RF Settings : [Tx-Power [10dBm]
    [2:81 kHz]
    [Factor [SF10]
    [Error Coding [1: 4/5]
    [Optimize [1: ON]
[g] Ack Request : [Disable]
    [Data Mode [Discharge]
    [Sleep Mode [Not Use]
    [UART BaudRate : [115200bps]
    [Recv Packet Output : [RSSI] [Enable]
    [SRC-Address [Disable]
    [CR+LF [Enable]
    [Length [Disable]
    [Output Code [Binary]
    [Use]
[h] Carrier Sense : [Retry Count[3]
    [RS Timeout(msec) [5]
    [Not Use]
[i] Low Level Noise Filter : [Connect Recv RSSI Threshold [-137]
    [Debug Print Output : [ON (TEXT)]
    [Broadcast Data Hopping Mode : [Unconditional]
    [AES KEY : [Not Use]
    [Read Module Type : [NST-429]

*****
Please input >[
```

図2 LoRaモードのデフォルト値 (?で表示)

# 6.コンフィグレーション項目一覧

## 6.2 LoRaモード :コンフィグレーション “a” ~ “n” まで

| コマンド | 設定項目             | 出荷時設定                                  | 設定範囲                                                                                                                                         |
|------|------------------|----------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| “a”  | 使用する無線CH番号の設定    | 7                                      | 7(429.25MHz)                                                                                                                                 |
| “b”  | PANネットワークアドレスの設定 | 0x1234                                 | 1~65534                                                                                                                                      |
| “c”  | 自局アドレスの設定        | 0x0001                                 | 0~65534                                                                                                                                      |
| “d”  | 宛先アドレスの設定        | 0x0000                                 | 0~65534 ※dコマンドで指定した宛先アドレスは、Dischageモードで送信する時に使用されます。                                                                                         |
| “e”  | ユニットモードの設定       | Child                                  | Child / Parent                                                                                                                               |
| “f”  | ルーティング通信の設定      | Non-Routing                            | Fixation / Auto-Routing / Non-Routing                                                                                                        |
| “g”  | RFの詳細設定          | TX-Power 13dBm<br>BW 125KHz<br>SF SF10 | 7章参照                                                                                                                                         |
| “h”  | ACKモードの設定        | Disable                                | Disable / Enable                                                                                                                             |
| “i”  | データ送信モードの設定      | Discharge                              | Dischage / Frame / Time Send / Output ambient noise / Continuous modulate transmission/Continuous unmodulated transmission / AT-Command Mode |
| “j”  | スリープモードの設定       | Not Use                                | Not Use / Use                                                                                                                                |
| “k”  | UART通信の設定        | 115200bps                              | 4800/9600/14400/19200/38400/57600/115200/230400/460800/921600                                                                                |
| “l”  | 受信パケット出力設定       | RSSI Enable<br>SRC-Address Disable     | 7章参照                                                                                                                                         |
| “m”  | キャリアセンス設定        | Use                                    | 7章参照                                                                                                                                         |
| “n”  | AES暗号化機能の設定      | Not Use                                | 7章参照                                                                                                                                         |

# 6.コンフィグレーション項目一覧

## 6.2 LoRaモード :コンフィグレーション “o” ~ “?” まで

| コマンド | 設定項目                | 出荷時設定         | 設定範囲                                  |
|------|---------------------|---------------|---------------------------------------|
| “o”  | 内部RTCクロックソースの設定     | LSE           | LSI / LSE                             |
| “q”  | 低レベルノイズフィルタカット設定    | Not Use       | Use / Not Use                         |
| “r”  | 自動接続時のRSSI閾値設定      | -153dBm       |                                       |
| “s”  | システムのスタート           | -             |                                       |
| “t”  | デバッグメッセージ出力の切り替え    | テキストメッセージ出力   | テキストメッセージ出力 / ステータスコード出力 / 出力無し       |
| “u”  | CPUユニークコードの読み出し     | -             | -                                     |
| “v”  | ソフトウェアリセットの実行       | -             | -                                     |
| “w”  | ブロードキャストマルチホップ機能    | Unconditional | Unconditional / Conditional / Not Use |
| “x”  | 設定情報の内部E2PROMへの保存   | -             | -                                     |
| “y”  | 内部E2PROMから設定情報の読み出し | -             | -                                     |
| “z”  | 内部E2PROMの初期化        | -             | -                                     |
| “!”  | モジュールタイプの読み出し       | -             |                                       |
| “&”  | トランシーバリセット機能の設定     | OFF           | 0:OFF 1:ON                            |
| “?”  | 現在状態の表示             | -             | -                                     |

# 6.コンフィグレーション項目一覧

## 6.3 FSK/GFSKモード基本メニュー

FSKモードを選択すると下記の基本メニューが表示され、  
a～z のコマンドにより各設定パラメータを編集を行うことができます。

何も編集しない場合は、デフォルト値で起動します。  
[?] を入力することで、設定状況を確認することができます。

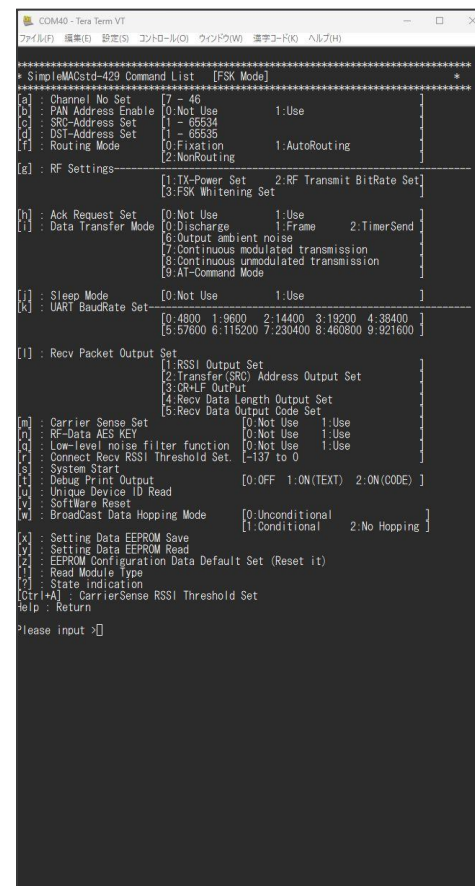


図1 FSKモード基本メニュー

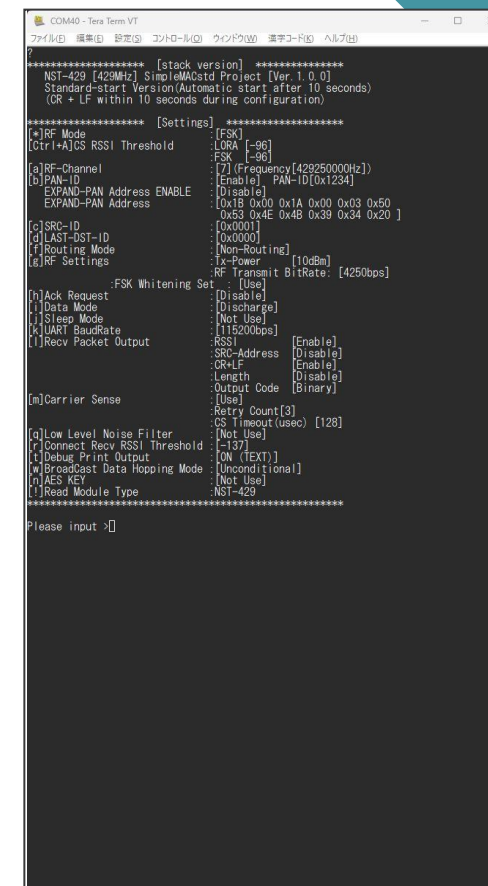


図2 FSKモードのデフォルト値

# 6.コンフィグレーション項目一覧

## 6.4 FSK/GFSKモード :コンフィグレーション“a”～“n”まで

| コマンド | 設定項目             | 出荷時設定                                                  | 設定範囲                                                                                                                                          |
|------|------------------|--------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| “a”  | 使用する無線CH番号の設定    | 7                                                      | 7(429.25MHz)                                                                                                                                  |
| “b”  | PANネットワークアドレスの設定 | 0x1234                                                 | 1～65534                                                                                                                                       |
| “c”  | 自局アドレスの設定        | 0x0001                                                 | 0～65534                                                                                                                                       |
| “d”  | 宛先アドレスの設定        | 0x0000                                                 | 0～65534 ※dコマンドで指定した宛先アドレスは、Dischageモードで送信する時に使用されます。                                                                                          |
| “e”  | ユニットモードの設定       | Child                                                  | Child / Parent                                                                                                                                |
| “f”  | ルーティング通信の設定      | Non-Routing                                            | Fixation / Auto-Routing / Non-Routing                                                                                                         |
| “g”  | RFの詳細設定          | TX-Power 13dBm<br>TR Bps 5000Kbps<br>Whitening Not Use | 7章参照                                                                                                                                          |
| “h”  | ACKモードの設定        | Disable                                                | Disable / Enable                                                                                                                              |
| “i”  | データ送信モードの設定      | Discharge                                              | Dischage / Frame / Time Send / Output ambient noise / Continuous modulated transmission/Continuous unmodulated transmission / AT-Command Mode |
| “j”  | スリープモードの設定       | Not Use                                                | Not Use / Use                                                                                                                                 |
| “k”  | UART通信の設定        | 115200bps                                              | 4800/9600/14400/19200/38400/57600/115200/230400/460800/921600                                                                                 |
| “l”  | 受信パケット出力設定       | RSSI Enable<br>SRC-Address Disable                     | 7章参照                                                                                                                                          |
| “m”  | キャリアセンス設定        | Use                                                    | 7章参照                                                                                                                                          |
| “n”  | AES暗号化機能の設定      | Not Use                                                | 7章参照                                                                                                                                          |



# 6.コンフィグレーション項目一覧

## 6.4 FSK/GFSKモード :コンフィグレーション“o” ~ “?” まで

| コマンド | 設定項目                | 出荷時設定         | 設定範囲                                  |
|------|---------------------|---------------|---------------------------------------|
| “o”  | 内部RTCクロックソースの設定     | LSE           | LSI / LSE                             |
| “q”  | 低レベルノイズフィルタカット設定    | Not Use       | Use / Not Use                         |
| “r”  | 自動接続時のRSSI閾値設定      | -153dBm       |                                       |
| “s”  | システムのスタート           | -             |                                       |
| “t”  | デバッグメッセージ出力の切り替え    | テキストメッセージ出力   | テキストメッセージ出力 / ステータスコード出力 / 出力無し       |
| “u”  | CPUユニークコードの読み出し     | -             | -                                     |
| “v”  | ソフトウェアリセットの実行       | -             | -                                     |
| “w”  | ブロードキャストマルチホップ機能    | Unconditional | Unconditional / Conditional / Not Use |
| “x”  | 設定情報の内部E2PROMへの保存   | -             | -                                     |
| “y”  | 内部E2PROMから設定情報の読み出し | -             | -                                     |
| “z”  | 内部E2PROMの初期化        | -             | -                                     |
| “!”  | モジュールタイプの読み出し       | -             |                                       |
| “&”  | トランシーバリセット機能の設定     | OFF           | 0:OFF 1:ON                            |
| “?”  | 現在状態の表示             | -             | -                                     |

# 7.コンフィグレーション項目・詳細

## 7.1 使用CH番号の設定コマンド（‘a’ コマンド）

日本国内の429MHz帯のチャンネル割り当ては以下の表の通りです。

| 設定可能範囲    |                  |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |   |   |   |   |
|-----------|------------------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|---|---|---|---|
| CH番号      | 1                | 2        | 3        | 4        | 5        | 6        | 7        | 2        | 3        | 4        | 5        | 6        | 7        | 8        | 9        | 10       | 11       | 12       | 13       | 14       | 15       | 16       | 17       | 18       | 19       | 20       | 21       | 22       | 23       | 24       | 25       | 26       | 27       | 28       | 29       | 30       | 31       | 32       | 33       | 34       | 35       | 36       | 37       | 38       | 39       | 40       |   |   |   |   |
| 周波数 (MHz) | 429.1750         | 429.1875 | 429.2000 | 429.2125 | 429.2250 | 429.2375 | 429.2500 | 429.2625 | 429.2750 | 429.2875 | 429.3000 | 429.3125 | 429.3250 | 429.3375 | 429.3500 | 429.3625 | 429.3750 | 429.3875 | 429.4000 | 429.4125 | 429.4250 | 429.4375 | 429.4500 | 429.4625 | 429.4750 | 429.4875 | 429.5000 | 429.5125 | 429.5250 | 429.5375 | 429.5500 | 429.5625 | 429.5750 | 429.5875 | 429.6000 | 429.6125 | 429.6250 | 429.6375 | 429.6500 | 429.6625 | 429.6750 | 429.6875 | 429.7000 | 429.7125 | 429.7250 | 429.7375 |   |   |   |   |
| BW        | 7.81             | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ◎        | ◎        | ◎        | ◎        | ◎        | ◎        | ◎        | ◎        | ◎        | ◎        | ◎        | ◎        | ◎        | ◎        | ◎        | ◎        | ◎        | ◎        | ◎        | ◎        | ◎        | ◎        | ◎        | ◎        | ◎        | ◎        | ◎        | ◎        | ◎        | ◎        | ◎        | ◎        | ◎        | ◎        | ◎        | ◎        | ◎        | ◎        | ◎        | ◎        | ◎ |   |   |   |
|           | 10.4             | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○ | ○ | ○ |   |
|           | 15.6             | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○ | ○ | ○ | ○ |
|           | 20.8             | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○ | ○ | ○ | ○ |
|           | 31.25            | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○ | ○ | ○ | ○ |
|           | 41.7             | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○ | ○ | ○ | ○ |
|           | 62.5             | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○ | ○ | ○ | ○ |
|           | 125              | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 250       | ○                | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 500       | ○                | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 送信時間制限    | 40秒送信 / 2秒休止     |          |          |          |          |          | 制限なし     |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |   |   |   |   |
| 帯域制限      | 5.8KHz以上8.5KHz以下 |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |          |   |   |   |   |

| コマンド     | デフォルト値 | 説明                                        |
|----------|--------|-------------------------------------------|
| “a” コマンド | 7      | <p>中心周波数の設定を行います。</p> <p>7～40 を指定します。</p> |

### 【注意】

国内で使用する場合は、帯域設定は、7.81KHz固定です。  
 図中 ◎ 部 が国内で使用可能です。

それ以外の部分は、電波暗室、登録実験免許等で許可を取得した場合に設定する事が可能です。

# 7.コンフィグレーション項目・詳細

## 7.2 ネットワークアドレス、PAN(Personal Area Network)アドレスの設定コマンド ('b' 'c' 'd' コマンド)

| コマンド     | デフォルト値 | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|----------|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| “b” コマンド | 0x1234 | <p><u>自ノードが参加するPANアドレスを設定します。</u></p> <p>PANアドレスとは、同一の無線CH内を更に分けて管理したい場合に使用します。<br/>PANアドレスは、標準PANと拡張PANの2種類があり、それぞれ下記のように指定することが出来ます。</p> <p>標準PANアドレス 0x0001～0xFFFFE の範囲<br/>拡張PANアドレス 0x?? で任意の12byte</p> <p>拡張PANは、任意に指定することも可能な他、ユニークコードで拡張PANを設定したい場合は、<br/>uコマンドでCPUユニークコードを読み出して手動設定することも可能です。</p> |
| “c” コマンド | 0x0001 | <p><u>自ノードのネットワークアドレスを設定します。</u></p> <p>1つのPANアドレス内に、0x0000～0xFFFFE の範囲で設定が可能です。</p>                                                                                                                                                                                                                       |
| “d” コマンド | 0x0000 | <p><u>送信先ノードのアドレスを設定します。</u>（一般的には親機のアドレスを設定しますが、他の子機アドレス指定も可能です）</p> <p>1つのPANアドレス内に、0x0000～0xFFFFE の範囲で設定が可能です。</p> <p>0xFFFF を設定すると ブロードキャストアドレスとなり、全ノードへの一斉送信を行うことが出来ます。</p>                                                                                                                           |

# 7.コンフィグレーション項目・詳細

## 7.3 ユニットモード設定コマンド（‘e’ コマンド）

| コマンド     | デフォルト値 | 説明                                                                                                                           |
|----------|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| “e” コマンド | Child  | <p><u>モジュールの親子設定を行います。</u></p> <p>通常1台のユニットを親機（Parent）として設定し、他の複数ユニットを子機（Child）として設定します。</p> <p>0 : Parent<br/>1 : Child</p> |

# 7.コンフィグレーション項目・詳細

## 7.4 ルーティングモード設定コマンド（‘f’ コマンド）

| コマンド     | デフォルト値      | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|----------|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| “f” コマンド | Non-Routing | <p>親子間の接続モードの設定を行います。</p> <p>Fixaction : 通信経路を指定して通信するモード<br/>AutoRouting : 自動的に通信経路を接続するモード<br/>NonRouting : スター型ネットワークで接続するモード</p> <p><b>0 : Fixaction</b></p> <p>0 : 中継なし<br/>1～3 : 中継数(ホップ数)の指定 最大3ノードまで</p> <p>(例)3を指定した場合<br/>First-Root-Address : 2<br/>Second-Root-Address : 3<br/>Third-Root-Address : 4</p> <p>下記のように送信されます。<br/>自ノード → 0x002 → 0x003 → 0x004 → 宛先ノード</p> <p><b>1 : AutoRouting</b><br/><b>2 : NonRouting</b></p> |

# 7.コンフィグレーション項目・詳細

## 7.5 無線詳細設定コマンド（‘g’ コマンド）【LoRaモード】

| コマンド     | デフォルト値 | 説明                                                                                                                                                                  |
|----------|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| “g” コマンド | -      | <u>送信パワー、総和時間処理の使用/不使用、送信インターバル時間の設定を行います。</u>                                                                                                                      |
|          |        | 1 : TX-Power Set (送信出力)                                                                                                                                             |
|          |        | 0 : 0dBm (1mW) ~ 13 : 13dBm (20mW) の範囲を1dBm単位で設定<br>※国内電波法では、10dBm(10mW)までが使用可能です                                                                                   |
|          |        | 2 : BandWidth                                                                                                                                                       |
|          |        | 0:7.81      1:10.42      2:15.63      3:20.83      4:31.25<br>5:41.67      6:62.5      7:125      8:250      9:500<br>※国内電波法では、1:7.81のみ使用可能です                       |
|          |        | 3 : Factor Set (拡散率)                                                                                                                                                |
| “g” コマンド | -      | 0 : SF6      SF6モード<br>1 : SF7      SF7モード<br>2 : SF8      SF8モード<br>3 : SF9      SF9モード<br>4 : SF10      SF10モード<br>5 : SF11      SF11モード<br>6 : SF12      SF12モード |
|          |        | 4 : Error Coding Rate (エラー訂正率)                                                                                                                                      |
|          |        | 1 : 4/5    2 : 4/6    3 : 4/7    4 : 4/8                                                                                                                            |
|          |        | 5 : Optimize Set1 (拡散データ最適化)                                                                                                                                        |
|          |        | 0 : OFF   1 : ON                                                                                                                                                    |
|          |        |                                                                                                                                                                     |

# 7.コンフィグレーション項目・詳細

## 7.6 無線詳細設定コマンド（‘g’ コマンド）【FSK/GFSKモード】

| コマンド     | デフォルト値 | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|----------|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| “g” コマンド | -      | <p>送信パワー、総和時間処理の使用/不使用、送信インターバル時間、Whitening機能の設定を行います。</p> <p>1 : TX-Power Set(送信出力)</p> <p>0 : 0dBm (1mW) ~ 13 : 13dBm (20mW)</p> <p>※国内電波法では、10dBm(10mW)までが使用可能です</p> <p>2 : RF Transmit BitRate (通信速度)</p> <p>1200(1.2Kbps)~300000(300Kbps)</p> <p>3 : Whitening Set (スクランブル機能)                      0 : Not Use      1 : Use</p> |

# 7.コンフィグレーション項目・詳細

## 7.7 ACK設定コマンド ('h' コマンド)

| コマンド     | デフォルト値  | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|----------|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| "h" コマンド | Not Use | <p><u>h コマンドでは、ACKパケットの使用、不使用を設定します。</u></p> <p>使用する場合は、タイムアウト時間の設定とリトライ回数の設定を行うことができます。</p> <p>0 : Not Use    ACK機能を使用しません</p> <p>1 : Use        ACK機能を使用します</p> <p>ACK Time Out Set(sec) [1 to 5]    ACKパケットの待ち時間を1～5秒の間で設定します。</p> <p>ACK Retry Counter                    0: Not Retry    リトライを行いません</p> <p>                                         1～5:            リトライ回数</p> |



# 7.コンフィグレーション項目・詳細

## 7.8 送信モード設定コマンド（‘i’ コマンド）

| コマンド     | デフォルト値    | 説明                                                                                                                  |
|----------|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| “i” コマンド | Discharge | <u>データの送信モードを設定します。</u>                                                                                             |
|          |           | 0 : Discharge<br>垂れ流し通信モード<br>UARTから入力されたデータをバイナリ値で送信します                                                            |
|          |           | 1 : Frame<br>所定のフォーマットで入力されたデータをバイナリ値で送信します                                                                         |
|          |           | 2 : TimerSend<br>内部で保持している自局アドレス、シリアルカウンタを設定した周期で自動送信します。<br>※通信テストを行う場合などに使用します。                                   |
|          |           | 6 : Output ambient noise<br>周辺ノイズレベルを含む、受信電力を1秒周期に表示出力します。                                                          |
|          |           | 7 : Continuous modulated transmission<br>連続変調送信モード<br>8bit単位に乱数生成したデータの変調データを連続送信します。                               |
|          |           | 8 : Continuous unmodulated transmission<br>連続無変調送信モード                                                               |
|          |           | 9 : AT-Command Mode<br>外部ホストからダイナミックにSimpleMAC-429を制御して通信を行うモードです。<br><u>詳細は9章を参照下さい。</u>                           |
|          |           | ※6 : Output ambient noiseで表示される受信電力のレベルは、LoRaモードとFSK/GFSKモードでは異なりますのでご注意ください。<br>LoRaモードが受信能力が高いため、表示される数値は小さくなります。 |

# 7.コンフィグレーション項目・詳細

## 7.9 タイマースリープモード設定コマンド（'j' コマンド）

| コマンド     | デフォルト値  | 説明                                                                                                                                                                                           |
|----------|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| “j” コマンド | Not Use | <p><u>タイマースリープの 使用/不使用 を設定します。</u></p> <p>0 : Not Use    タイマースリープを使用しません</p> <p>1 : Use        1秒～86400(24時間)の範囲で設定します。<br/>設定した周期で起床するため、ユーザーで追加したプログラム等を登録することで<br/>定周期送信などを行うことができます。</p> |

# 7.コンフィグレーション項目・詳細

## 7.10 UART設定コマンド（‘k’ コマンド）

| コマンド     | デフォルト値 | 説明                                                                                                                                                          |
|----------|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| “k” コマンド | 115200 | <u>UART通信速度の設定をします。</u><br>0 : 4800<br>1 : 9600<br>2 : 14400<br>3 : 19200<br>4 : 38400<br>5 : 57600<br>6 : 115200<br>7 : 230400<br>8 : 460800<br>9 : 921600 |

### Ver2.0以下のバージョン

UART設定については、xコマンドによるFlashROM保存されません。

デフォルト値を変更したい場合は、SDKにより、デフォルト設定値を変更していただき、再ビルドすることで変更が可能になります。

### Ver2.0以上のバージョン

xコマンドで保存することで、yコマンドや自動スタート設定により、保存したUART設定内容で動作します。

出荷時に戻す場合は、自動設定をOFFにして起動すると、115200bpsで起動します。

※SDKを利用して出荷時設定を改造された場合は、電源リセット後は、改造した設定で起動します。

# 7.コンフィグレーション項目・詳細

## 7.11 受信パケット表示モード設定コマンド ('I' コマンド)

| コマンド     | デフォルト値                                  | 説明                                                                                                                                                                              |
|----------|-----------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| "I" コマンド | RSSI Enable<br><br>Transfer Add Disable | <u>パケット受信したデータをUART出力する際の表示方法を設定します。</u>                                                                                                                                        |
|          |                                         | 1 : RSSI Output Set      RSSI(電波受信強度)の表示/非表示を設定します。(注1)                                                                                                                         |
|          |                                         | 2 : Transfer Address Output Set      送信元アドレス関連情報の表示/非表示を設定します。<br><br>表示を有効に設定すると、<br>送信元アドレス(rootアドレス)のOut put/Not Out putを聞いてきます。<br>ここで「Out put」を選択すると、中継ノード情報全てが表示されます。(注2) |
|          |                                         | 3 : CR/LF Output Set      出力の最後に、CR+LFを出力/非出力を設定します。                                                                                                                            |
|          |                                         | 4 : Recv Data Length Output Set      受信データ長の出力有無を設定します。                                                                                                                         |
|          |                                         | 5 : Recv Data Output Code Set      受信データの出力方法を設定します。                                                                                                                            |

(注1)  
LoRaモード/SF6使用時のRSSI出力値について

LoRa変調の特性上、LoRaモード選択時、SF6使用時のRSSI値については正しい値が表示されません。

表示値のほとんどが-120dBm以下の弱い値が表示されますが、実際の値ではないため、SF7を使用した際の数値の約85%程度を目安にさせていただきます様、お願いいたします。

(注2)  
Output Set を選択して、rootアドレス表示も有効にした場合には、以下のように表示されます。

送信元アドレス      = 1  
直前アドレス      = 102  
中継ノード1      = 100  
中継ノード2      = 101  
中継ノード3      = 102

※RSSI値表示有効設定

1,102,100,101,102,-121,data

# 7.コンフィグレーション項目・詳細

## 7.12 キャリアセンス設定コマンド（‘m’コマンド）

| コマンド     | デフォルト値         | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|----------|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| “m” コマンド | Use<br>リトライ 2回 | <p><u>キャリアセンスに関する設定を行います。</u></p> <p><b>0 : Not Use</b>    キャリアセンスを無効にします。<br/>※試験時のモードとしてご使用ください。</p> <p><b>1 : Use</b>        キャリアセンスを有効にします。<br/><b>0 :</b>                キャリアセンスリトライを無効にします。<br/><b>1～9 :</b>          1～9回の間でリトライ回数を設定します。</p> <p>リトライ回数を1～9を選択した場合<br/>Carrier Sense TimeOut Set (msec) [5-4000]= 5ms～4000ms の範囲を1ms単位で設定します</p> |

## 7.13 AES設定コマンド（‘n’ コマンド）

| コマンド     | デフォルト値  | 説明                                                                                                                                                                           |
|----------|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| “n” コマンド | Not Use | <p><u>n コマンドでは、AES機能の使用/不使用を設定します。</u></p> <p><b>0 : Not Use</b>    AES機能を使用しません。</p> <p><b>1 : Use</b>        AES機能を有効にします。<br/>AES Key : 任意の16byteのKeyコードをバイナリ値で設定します。</p> |

# 7.コンフィグレーション項目・詳細

## 7.14 低レベルノイズフィルタ機能コマンド（‘q’ コマンド）

| コマンド     | デフォルト値  | 説明                                                                                                                                                                     |
|----------|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| “q” コマンド | Not Use | <u>LoRaモード時に125dBm以下のレベルで発生するCH干渉ノイズをMAC層でフィルタカットする機能の有効/無効の設定します。</u><br>0 : Not Use                      機能を使用しません。<br>1 : Use                            機能を有効にします。 |

## 7.15 デバッグメッセージ設定コマンド（‘t’ コマンド）

| コマンド     | デフォルト値    | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|----------|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| “t” コマンド | ON (TEXT) | <u>送信完了時などのイベント時に応答メッセージを出力する/しないを設定できます。</u><br>0 : OFF                            機能を使用しません。<br>1 : ON (TEXT)                    テキストでデバッグ出力します。<br>2 : ON (CODE)                   ステータスコードでデバッグ出力します。<br>※ステータスコードについては、「11.2 データ送信リターンステータス一覧(デバッグ出力ON:CODE時)」を参照 |

# 7.コンフィグレーション項目・詳細

## 7.16 CPU製造コード読み出しコマンド（‘u’ コマンド）

| コマンド     | デフォルト値 | 説明                                                                                              |
|----------|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| “u” コマンド | -      | <p>CPUの製造コードの読み出しを行います。</p> <p>CPU製造コードは、本モジュールに内蔵しているCPU内部に書き込まれているユニークコードです。<br/>用途は自由です。</p> |

## 7.17 E2ROM設定コマンド（‘y’ ‘x’ ‘z’ コマンド）

| コマンド                             | デフォルト値 | 説明                                                                                                                                                                                       |
|----------------------------------|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| “y” コマンド<br>“x” コマンド<br>“z” コマンド | -      | <p>y 及び x コマンドでは、内蔵E2PROMに対する読み出し、保存を行います。</p> <p>y： 内蔵E2PROMに保存されている設定内容を読み出します。<br/>出荷時は、デフォルト値が保存されています。</p> <p>x： 各種コマンドで設定した内容を内蔵E2PROMに保存します。</p> <p>z： E2PROMの内容を出荷時の状態に戻します。</p> |

# 7.コンフィグレーション項目・詳細

## 7.18 ブロードキャスト再発報コマンド（‘w’コマンド）

| コマンド     | デフォルト値        | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|----------|---------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| “w” コマンド | Unconditional | <p><u>ブロードキャスト受信したデータを再発報させる機能です。</u></p> <p>Unconditional : 無条件ホッピング<br/>Conditional : 条件付きホッピング<br/>Not Use : 不使用</p> <p>本機能は、他ノードからのブロードキャストデータを受信した際に以下の条件で再発報するかどうかの設定を行うことができます。<br/>なお、再発報する場合、自分が発報したデータの他ノードによる再発報の回り込み発報は行いません。</p> <p>0 : Unconditional                      他ノードからのブロードキャストデータを無条件に再発報します。<br/>1 : Conditional                        自ノードが他ノードの中継器になっている場合にのみ、再発報します。<br/>2 : Not Use                              再発報を行いません</p> |



# 7.コンフィグレーション項目・詳細

## 7.19 自動中継接続フィルタ設定コマンド (“r”コマンド)

| コマンド     | デフォルト値 | 説明                                                                                                                                                                                       |
|----------|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| “r” コマンド | -153   | <p>自動中継接続時の接続条件としての電波受信強度の閾値を設定します。</p> <p>-153dBm ~ 0dBm :</p> <p>接続モードが「自動中継モード」に設定されている状態で他ノードからの接続応答に対して、電波受信強度の閾値がrコマンドで設定した値よりも弱い場合には、接続対象から除外することが出来ます。<br/>※他ノートには、親機も含まれます。</p> |

## 7.20 デバイスタイプの読出しコマンド (“!”コマンド)

| コマンド     | デフォルト値     | 説明                                                       |
|----------|------------|----------------------------------------------------------|
| “!” コマンド | デバイスタイプに依存 | <p>SimpleMACが動作しているデバイスのタイプを読み出します。</p> <p>RM-420が登録</p> |

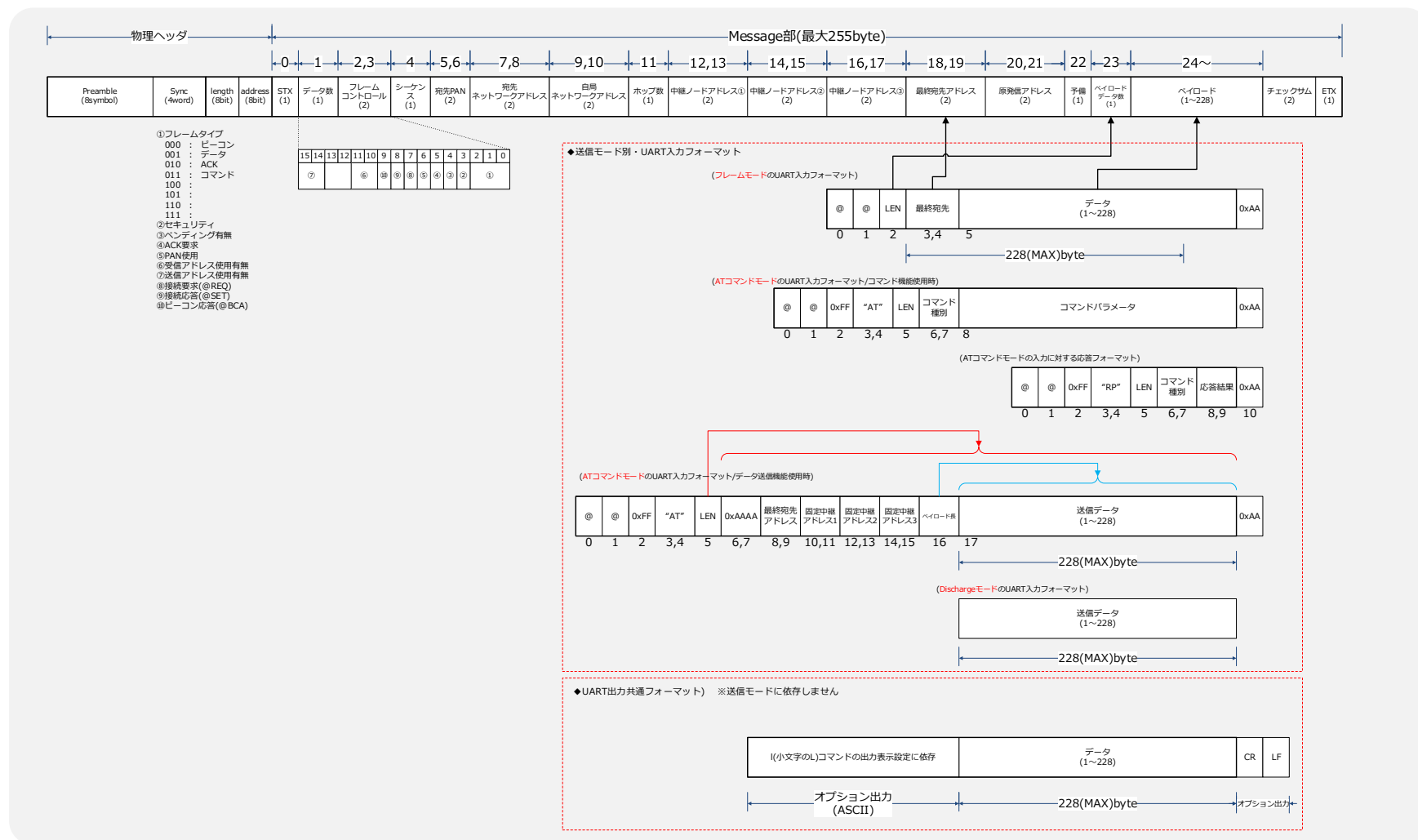
# 7.コンフィグレーション項目・詳細

## 7.21 トランシーバーリセット機能の有効/無効設定（'＆' コマンド）

| コマンド     | デフォルト値 | 説明                                                                                                                                                                                                 |
|----------|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| “&” コマンド | OFF    | <p><u>アンテナから侵入する外部サージ等の要因でトランシーバーがフリーズした場合に初期化をする機能です。</u></p> <p>0 : OFF      初期化機能を使用しません。</p> <p>1 : ON      初期化機能を使用します。<br/>→ Transceiver Reset Time Set(sec) [1 - 3600]=    秒単位に初期化周期の設定</p> |

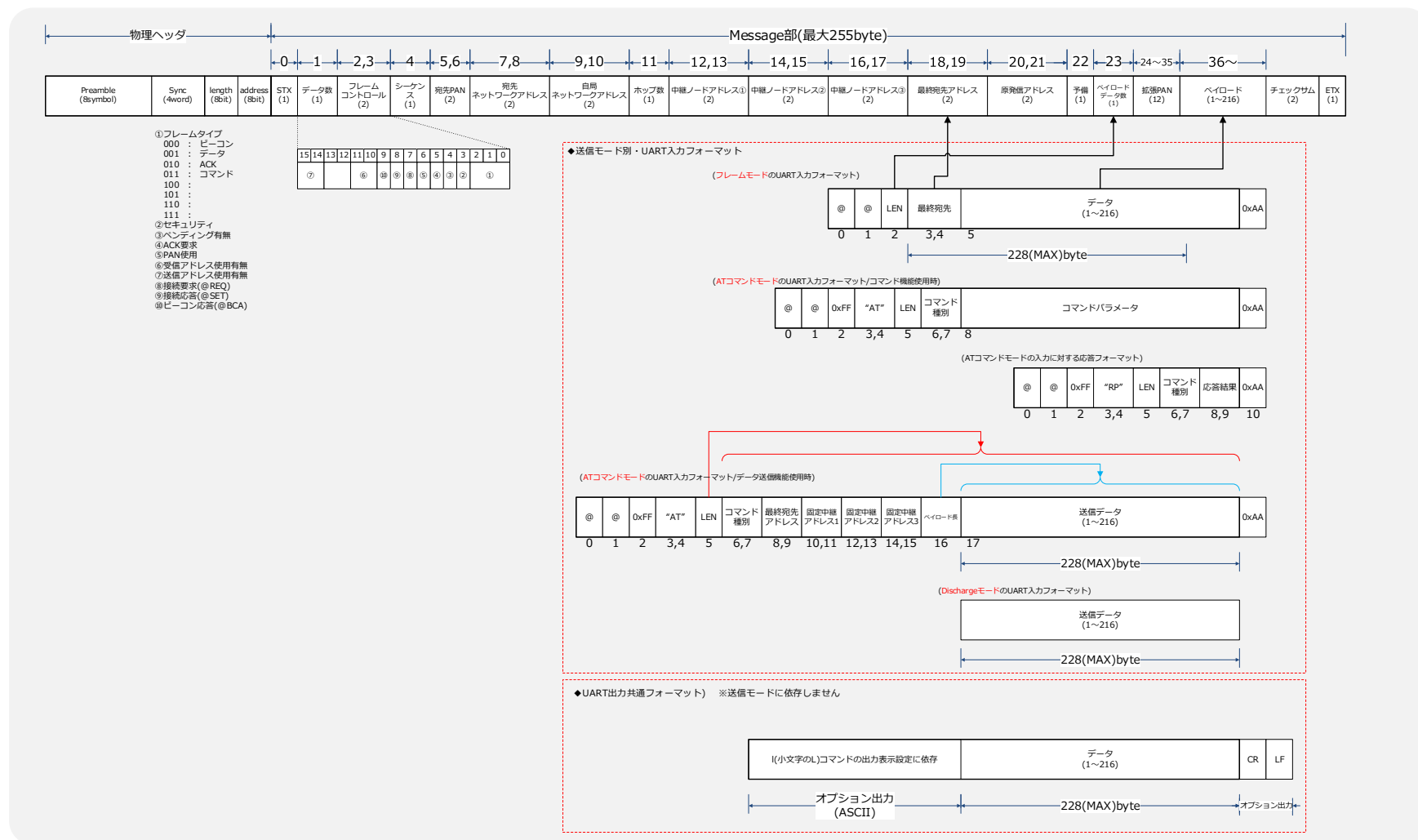
# 8. フレームフォーマット (全モード共通)

## 8.1 エアフォーマット 8.1.1 標準エアフォーマット (拡張PAN不使用時)



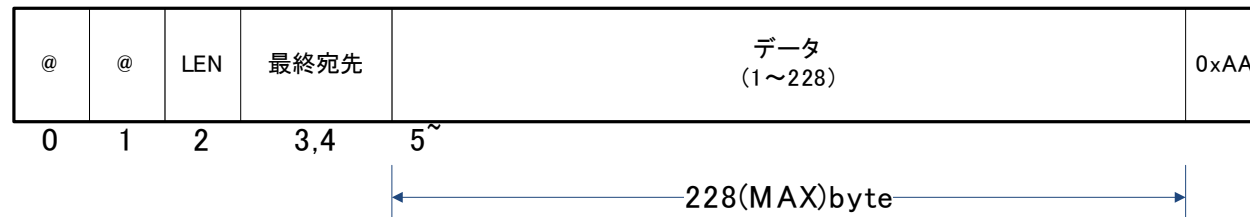
# 8. フレームフォーマット (全モード共通)

## 8.1 エアフォーマット 8.1.2 拡張PANエアフォーマット



# 8.フレームフォーマット (全モード共通)

## 8.2 UART入力フォーマット (フレームモード)



| No | フィールド項目  | 説明                 | 備考               |
|----|----------|--------------------|------------------|
| 01 | @@       | 先頭コード              | 0x40 0x40        |
| 02 | LEN      | データ数               | 1~228をバイナリで指定    |
| 03 | 最終宛先アドレス | 最終宛先となるアドレスを指定します  | ビッグエンディアンでバイナリ設定 |
| 04 | データ      | 送信するデータをバイナリで設定します |                  |
| 05 | 0xAA     | 最終コード              | 0xAA             |

# 8.フレームフォーマット（全モード共通）

## 8.3 UART出力フォーマット・出荷時設定の場合

|                            |   |                          |    |    |
|----------------------------|---|--------------------------|----|----|
| RSSI値(ASCII)<br>("ex -131) | , | データ(1~228) ※拡張PAN使用時は216 | CR | LF |
|----------------------------|---|--------------------------|----|----|

| No | フィールド項目           | 説明                               | 備考                     |
|----|-------------------|----------------------------------|------------------------|
| 01 | RSSI値             | 電波受信強度を+13~-137dBmの範囲でASCII表示します | 出力オプション有効時(デフォルトは出力有効) |
| 02 | ,                 | カンマ                              |                        |
| 03 | データ               | データ部の内容をそのまま出力(Binary)           |                        |
| 04 | 改行コード+<br>ラインフィード | コンフィグレーション設定で、出力設定を有効時に出力します。    | 出力オプション有効時(デフォルトは出力有効) |

# 8. フレームフォーマット (全モード共通)

## 8.4 UART出力フォーマット・送信元アドレス出力設定の場合

※l(小文字のL)で設定します

|                |   |               |   |                     |   |                          |    |    |
|----------------|---|---------------|---|---------------------|---|--------------------------|----|----|
| 原発信<br>送信元アドレス | , | 直接<br>送信元アドレス | , | RSSI値<br>("ex -131) | , | データ(1~228) ※拡張PAN使用時は216 | CR | LF |
|----------------|---|---------------|---|---------------------|---|--------------------------|----|----|

| No | フィールド項目           | 説明                               | 備考                                                                    |
|----|-------------------|----------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|
| 01 | 原発信・送信元アドレス       | データの送信元のアドレスを出力します               |                                                                       |
| 02 | ,                 | カンマ                              |                                                                       |
| 03 | 直接・送信元アドレス        | 親機に直接送信してくる送信元アドレスを出力します         | 中継機を介さずにデータを受信した場合は<br>原発信送信元アドレスと直接送信元アドレスは<br>同一のため、同じアドレスが2つ表示されます |
| 04 | ,                 | カンマ                              |                                                                       |
| 05 | RSSI値             | 電波受信強度を+13~-137dBmの範囲でASCII表示します | 出力オプション有効時(デフォルトは出力有効)                                                |
| 06 | ,                 | カンマ                              |                                                                       |
| 07 | データ               | データ部の内容をそのまま出力(Binary)           |                                                                       |
| 08 | 改行コード+<br>ラインフィード | コンフィグレーション設定で、出力設定を有効時に出力します。    | 出力オプション有効時(デフォルトは出力有効)                                                |

# 8.フレームフォーマット（全モード共通）

## 8.5 UART出力フォーマット・送信元アドレス+中継アドレス出力設定の場合

※l(小文字のL)で設定します

|                |   |               |   |               |   |               |   |               |   |                     |   |                              |    |    |
|----------------|---|---------------|---|---------------|---|---------------|---|---------------|---|---------------------|---|------------------------------|----|----|
| 原発信<br>送信元アドレス | , | 直接<br>送信元アドレス | , | 第1<br>中継機アドレス | , | 第2<br>中継機アドレス | , | 第3<br>中継機アドレス | , | RSSI値<br>("ex -131) | , | データ(1~228) ※拡張PAN使用時<br>は216 | CR | LF |
|----------------|---|---------------|---|---------------|---|---------------|---|---------------|---|---------------------|---|------------------------------|----|----|

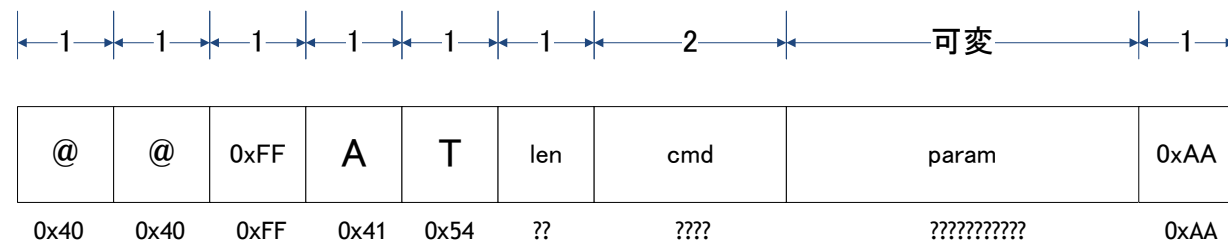
| No | フィールド項目           | 説明                               | 備考                     |
|----|-------------------|----------------------------------|------------------------|
| 01 | 原発信・送信元アドレス       | データの送信元のアドレスを出力します               |                        |
| 02 | ,                 | カンマ                              |                        |
| 03 | 直接・送信元アドレス        | 親機に直接送信してくる送信元アドレスを出力します         |                        |
| 04 | ,                 | カンマ                              |                        |
| 05 | 第1中継機アドレス         | 原発信・送信元アドレスから見た時の第1中継機のアドレスです    | 中継しない時は、65535 が表示されます  |
| 06 | ,                 | カンマ                              |                        |
| 07 | 第2中継機アドレス         | 第1・中継機アドレスから見た時の第2・中継機のアドレスです    | 中継しない時は、65535 が表示されます  |
| 08 | ,                 | カンマ                              |                        |
| 09 | 第3中継機アドレス         | 第2・中継機アドレスから見た時の第3・中継機のアドレスです    | 中継しない時は、65535 が表示されます  |
| 10 | ,                 | カンマ                              |                        |
| 11 | RSSI値             | 電波受信強度を+13~-137dBmの範囲でASCII表示します | 出力オプション有効時(デフォルトは出力有効) |
| 12 | ,                 | カンマ                              |                        |
| 13 | データ               | データ部の内容をそのまま出力(Binary)           |                        |
| 14 | 改行コード+<br>ラインフィード | コンフィグレーション設定で、出力設定を有効時に出力します。    | 出力オプション有効時(デフォルトは出力有効) |



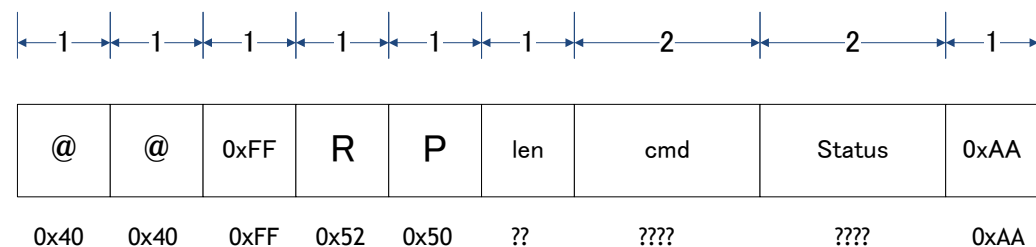
# 9. ATコマンド機能 (AT-command-mode時)

## 9.1 コマンドフォーマット

### コマンド



### 応答レスポンス



※ len は、cmdとparamの長さの合計バイトです。

# 9. ATコマンド機能 (AT-command-mode時)

## 9.2 コマンド種別一覧表

| No | Cmd    | Len | 機能                          | Param (コマンドパラメータ)                                                                                                                                                       | 書式例 (数値は16進数)                                                                                                                                                                                      | 補足説明                                                                                                                             |
|----|--------|-----|-----------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 01 | 0x0001 | 3   | 周波数の変更                      | 0x18 ~ 0x3d ※CH24~CH61                                                                                                                                                  | 4040FF415403000119AA                                                                                                                                                                               | 周波数CHを25に設定                                                                                                                      |
| 02 | 0x0002 | 4   | PANアドレスの変更                  | 第一パラメータ 0x0001 ~ 0xfffe<br>第二パラメータ 00 or 01<br>第三パラメータ 任意の拡張PANアドレス12byte                                                                                               | 4040FF41541100020020010102030405060708090A0B0CAA                                                                                                                                                   | PANアドレスを0x0020(32)に設定<br>拡張PANを使用<br>拡張PANアドレスに<br>0102030405060708090A0B0Cを設定                                                   |
| 03 | 0x0003 | 4   | 自局アドレスの変更                   | 0x0000 ~ 0xfffe                                                                                                                                                         | 4040FF41540400030064AA                                                                                                                                                                             | 自局アドレスを0x0064(100)に設定                                                                                                            |
| 04 | 0x0004 | 4   | 最終宛先アドレスの変更                 | 0x0000 ~ 0xfffe                                                                                                                                                         | 4040FF41540400040100AA                                                                                                                                                                             | 最終宛先アドレスを0x0100(256)に設定                                                                                                          |
| 05 | 0x0005 | 3   | ユニットモードの変更                  | 0x00 (親機) 0x01 (子機)                                                                                                                                                     | 4040FF415403000501AA                                                                                                                                                                               | ユニットモードを子機に設定                                                                                                                    |
| 06 | 0x0006 | 11  | ルーティングモードの変更                | 第1パラメータ 0x00 (固定中継) 0x01 (自動中継) 0x02 (中継無し)<br>第2パラメータ 中継ノードアドレス1 0x0000~0xFFFE<br>第3パラメータ 中継ノードアドレス2 0x0000~0xFFFE<br>第4パラメータ 中継ノードアドレス3 0x0000~0xFFFE<br>第5パラメータ 最終宛先 | 中継無し (最終宛先:ブロードキャスト)<br>4040FF41540B000602FFFFFFFFFFFFFFFFAA<br>自動中継 (最終宛先:1)<br>4040FF41540B000601FFFFFFFFFFFF0001AA<br>固定中継 (中継1:1/中継2:2/中継3:3/最終宛先:100)<br>4040FF41540B0006010001000200030064AA | 第2~第4パラメータは、第1パラメータで<br>0x00 (固定中継) を選択した場合に意味を成し、アドレスに0xFFFFを入れた所までのホップ数で中継通信を行います。<br>0x01 (自動中継)、0x02 (中継無し) を選択した場合は、無視されます。 |
| 07 | 0x0007 | 3   | RF送信出力設定                    | RM-92Aについて 0x00~0x0d ※0dBm ~ 13dBm<br>RM-92Cについて 0x0d~0x18 ※13dBm ~ 24dBm                                                                                               | 4040FF41540300070DAA                                                                                                                                                                               | 出力を13dBm(20mW)に設定                                                                                                                |
| 08 | 0x0008 | 3   | BW設定<br>(LoRa設定時)           | 0x00~0x02 ※0x00=125KHz 0x01=250KHz 0x02=500KHz                                                                                                                          | 4040FF415403000802AA                                                                                                                                                                               | BWを500KHzに設定                                                                                                                     |
| 09 | 0x0009 | 3   | SF設定<br>(LoRa設定時)           | 0x00~0x06 ※0x00=SF6 0x01=SF7 0x02=SF8 0x03=SF9<br>0x04=SF10 0x05=SF11 0x06=SF12                                                                                         | 4040FF415403000901AA                                                                                                                                                                               | SFをSF7に設定                                                                                                                        |
| 10 | 0x000A | 3   | Coding Rate 設定<br>(LoRa設定時) | 0x01~0x04 ※0x01=4/5 0x02=4/6 0x03=4/7 0x04=7/8                                                                                                                          | 随時追加                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                  |
| 11 | 0x000B | 3   | Coding最適化設定                 | 0x00~0x01 ※0x00=無効 0x01=有効                                                                                                                                              | 随時追加                                                                                                                                                                                               | SF11/S12の場合は強制的に有効設定                                                                                                             |

# 9.ATコマンド機能 (AT-command-mode時)

## 9.2 コマンド種別一覧表

| No | Cmd    | Len | 機能                | Param (コマンドパラメータ)                                                                                                                                                                        | 書式例 (数値は16進数)                      | 補足説明 |
|----|--------|-----|-------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------|------|
| 12 | 0x000C | 3   | 総和時間有効/無効         | 0x00~0x01 ※0x00=無効 0x01=有効                                                                                                                                                               | 随時追加                               |      |
| 13 | 0x000D | 4   | ACKモード有効/無効       | 第1パラメータ 0x00~0x01 ※0x00=無効 0x01=有効<br>第2パラメータ 0x01~0x0a ※ACKタイムアウト時間(秒)                                                                                                                  | 4040FF415404000D0105AA             |      |
| 14 | 0x000E | 3   | UART速度設定          | 0x00~0x09 ※0x00=4800(bps) 0x01=9600(bps)<br>0x02=14400(bps) 0x03=19200(bps)<br>0x04=38400(bps) 0x05=57600(bps)<br>0x06=115200(bps) 0x07=230400(bps)<br>0x08=460800(bps) 0x09=921600(bps) | 4040FF415403000E06AA               |      |
| 15 | 0x000F | 3   | RSSI値出力設定         | 0x00~0x01 ※0x00=無効 0x01=有効                                                                                                                                                               | 4040FF415403000F01AA               |      |
| 16 | 0x0010 | 10  | キャリアセンス有効/無効      | 第1パラメータ 0x00~0x01 ※0x00=無効 0x01=有効<br>第2パラメータ 0x00~0x09 ※0x00=リトライ回数<br>第3パラメータ 0x80~0x003d0900 ※FSK設定時 (128~4000000)<br>第4パラメータ 0x05~0x0fa0(4000) ※LoRa設定時 (5~4000)                     | 4040FF41540A00100103000000800005AA |      |
| 17 | 0x0011 | 3   | 変調方式の変更           | 0x01~0x03 ※0x01=LoRa 0x02=FSK 0x03=GFSK                                                                                                                                                  | 4040FF415403001101AA               |      |
| 18 | 0x0012 | 3   | 自動中継接続時のRSSI閾値設定  | 0xC4~0x88 ※-60dBm~-120dBm                                                                                                                                                                | 4040FF4154030012B0AA               |      |
| 19 | 0x0013 | 6   | FSK通信速度設定         | 0x000004b0~0x000493e0<br>※1200bps(1.2K)~300000bps(300K)                                                                                                                                  | 4040FF4154060013000186A0AA         |      |
| 20 | 0x0014 | 3   | デバッグメッセージ出力有無     | 0:出力なし 1:デバッグテキスト出力 2:デバッグステータスコード出力                                                                                                                                                     | 4040FF415403001401AA               |      |
| 21 | 0x0101 | 2   | EEPROM設定値読み出し     | 無し                                                                                                                                                                                       | 4040FF4154020101AA                 |      |
| 22 | 0x0102 | 2   | EEPROM設定値保存       | 無し                                                                                                                                                                                       | 4040FF4154020102AA                 |      |
| 23 | 0x0103 | 2   | EEPROM設定値初期化(出荷時) | 無し                                                                                                                                                                                       | 4040FF4154020103AA                 |      |

# 9.ATコマンド機能 (AT-command-mode時)

## 9.2 コマンド種別一覧表

| No | Cmd    | Len    | 機能             | Param (コマンドパラメータ)                                                                                                                                                                                  | 書式例 (数値は16進数)                                                                                                                | 補足説明                                                                                                                                       |
|----|--------|--------|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 24 | 0x0104 | 2      | ソフトウェアリセット     | 無し                                                                                                                                                                                                 | 4040FF4154020104AA                                                                                                           |                                                                                                                                            |
| 25 | 0x0106 | 8      | スリープ実行         | 第1パラメータ 0x00~0x01 ※0x00=スリープ無し 0x01=スリープ有効<br>第2パラメータ 0x00~0x01 ※0x00=内部タイマー起床 0x01=外部割込起床<br>第3パラメータ 0x00000001~0x00015180 1~86400秒                                                               | 4040FF4154080106010000000010AA                                                                                               | 外部割込み起床として、PB7(PIN-05)を割り当てています。<br>アクティブLowで起床します。<br>Low状態は100ms以上キープ願います。<br>左記の書式例は、下記の設定例です。<br>・スリープ有効<br>・起床条件 内部タイマー起床<br>・10秒後に起床 |
| 26 | TBD    | TBD    | 同期パケット送信       | TBD                                                                                                                                                                                                | 随時追加                                                                                                                         |                                                                                                                                            |
| 27 | 0xAAAA | 2 + 可変 | データ送信要求        | 第1パラメータ 0x0000~0xFFFF ※最終宛先アドレス<br>第2パラメータ 0x0000~0xFFFF ※固定中継アドレス1<br>第3パラメータ 0x0000~0xFFFF ※固定中継アドレス2<br>第4パラメータ 0x0000~0xFFFF ※固定中継アドレス3<br>第5パラメータ 0x01~0x64 ※ペイロード長 (最大228byte)<br>第6パラメータ 任意 | 4040FF41540CAAAA0000FFFFFFFFFFFFF0131AA                                                                                      | 書式例は0x31("1")を送信する場合の例です。<br>第2~第4パラメータは、中継モードを固定中継モード設定時に意味を成し、他のモード時は無視されます。                                                             |
| 28 | 0x0020 | 19     | AES 有効/無効 & キー | 第1パラメータ 0:AES無効 1:AES有効<br>第2パラメータ AESキー16バイト(binary)                                                                                                                                              | AES無効<br>4040FF415413002000000000000000000000000000000000AA<br>AES有効<br>4040FF4154130020011234567890ABCDEF1A2B3C4D5E6F0A1BAA | 第2パラメータは、第1パラメータが「1」の時のみ有効                                                                                                                 |
| 29 | 0x0015 | 3      | 受信時CR+LF出力有無設定 | 0:無し 1:有り                                                                                                                                                                                          | 4040FF415403001501AA                                                                                                         |                                                                                                                                            |
| 30 | 0x0016 | 4      | 受信時送信元ID出力有無設定 | 第1パラメータ 送信元ID出力 0:出力無し 1:出力有り<br>第2パラメータ 中継ルートID出力 0:出力無し 1:出力有り                                                                                                                                   | 4040FF41540400160101AA                                                                                                       | 第2パラメータは、第1パラメータが「1」の場合のみ有効                                                                                                                |

# 9.ATコマンド機能 (AT-command-mode時)

## 9.2 コマンド種別一覧表

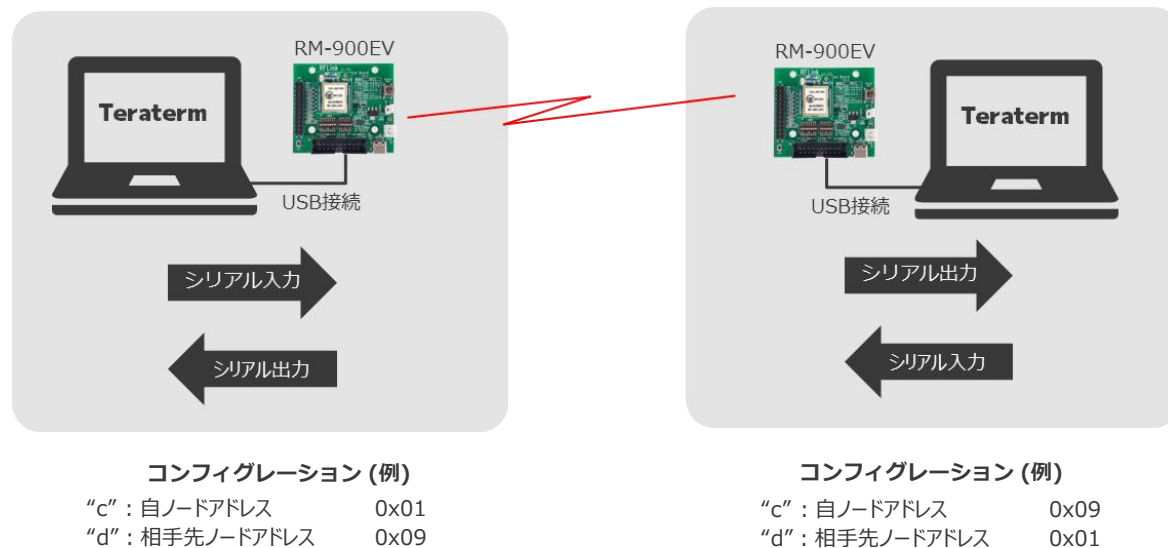
| No | Cmd    | Len | 機能                  | Param (コマンドパラメータ)            | 書式例 (数値は16進数)        | 補足説明                                                                          |
|----|--------|-----|---------------------|------------------------------|----------------------|-------------------------------------------------------------------------------|
| 31 | 0x0017 | 3   | ブロードキャスト<br>ホッピング設定 | 0:無条件ホップ 1:条件つきホップ 2:not use | 4040FF415403001700AA | 条件つきホップは、以下の場合のみホップする<br>・自動中継モード<br>・子機モード<br>・自身が中継の役割を担う場合<br>・合計3ホップ以内    |
| 32 | 0x0018 | 3   | 受信データ長出力<br>有無設定    | 0:出力なし 1:出力あり                | 4040FF415403001801AA | ASCIIで出力されます                                                                  |
| 33 | 0x0019 | 3   | 受信データ出力方法設定         | 0:バイナリ出力 1:Hexをキャラクタで出力      | 4040FF415403001900AA | 1:HEXをキャラクタで出力 の例<br>バイナリで「0x12 0x34 0xAB」というデータの場合、<br>“1234AB” とキャラクタ出力します。 |
| 34 | 0x2001 | 2   | ホットスワップ指示           | 無し                           | 4040FF4154022001AA   | この指示を出すと、CPUはその場で永久ループします。<br>※ATコマンドのみ                                       |
| 35 | 0x0021 | 3   | 最大送信ペイロード長<br>自動調整  | 0:無効 1:有効                    | 4040FF415403002100AA | 4秒連続送信制限を無効にします                                                               |
| 36 | 0x3001 | 3   | 連続変調/連続無変調<br>の送信   | 0:連続変調 1:連続無変調               | 4040FF415401300101AA | リセットするまで連続されます                                                                |
| 37 | 0x3002 | 2   | デバイスタイプの<br>読み出し    | 無し                           | 4040FF4154023002AA   | このコマンドを受けるとRPでデバイスタイプを返します。                                                   |
| 38 | 0x8021 | 2   | CPUユニークコードの<br>読み出し | 無し                           | 4040FF4154028021AA   | CPUのユニークコードの読み出しを行います。                                                        |

# 10. サンプルプログラムの設定例

## 10.1 コンフィグレーション設定例 ～ 単純なシリアルデータの送受信

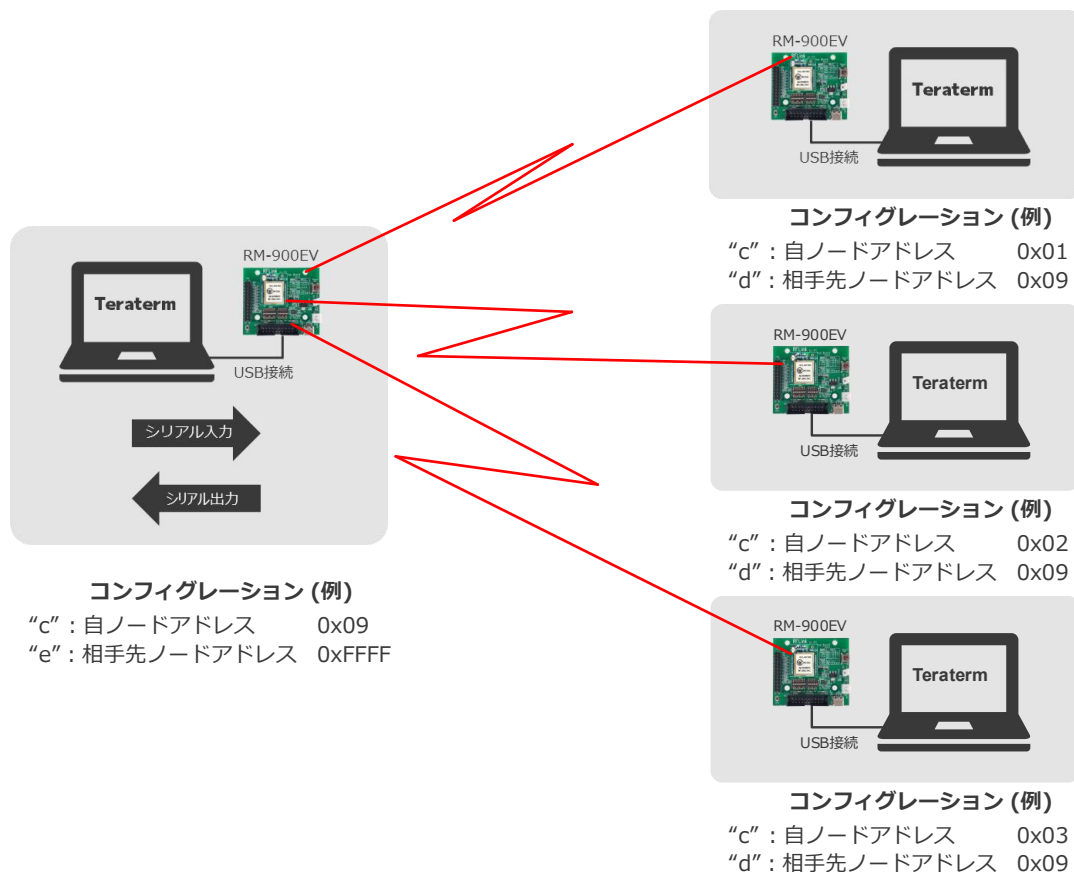
### 1:1通信で、PC～PC間で単純な通信を行う場合の設定例

2台のPC間で、それぞれのキーボードから入力した値をリアルタイムに相互通信します。  
下記コンフィグレーション値以外はデフォルト設定を使用します。(CH7/Dischargeモード)



# 10. サンプルプログラムの設定例

## 10.2 コンフィグレーション設定例 ～ 単純なシリアルデータの 1:Nによる構築



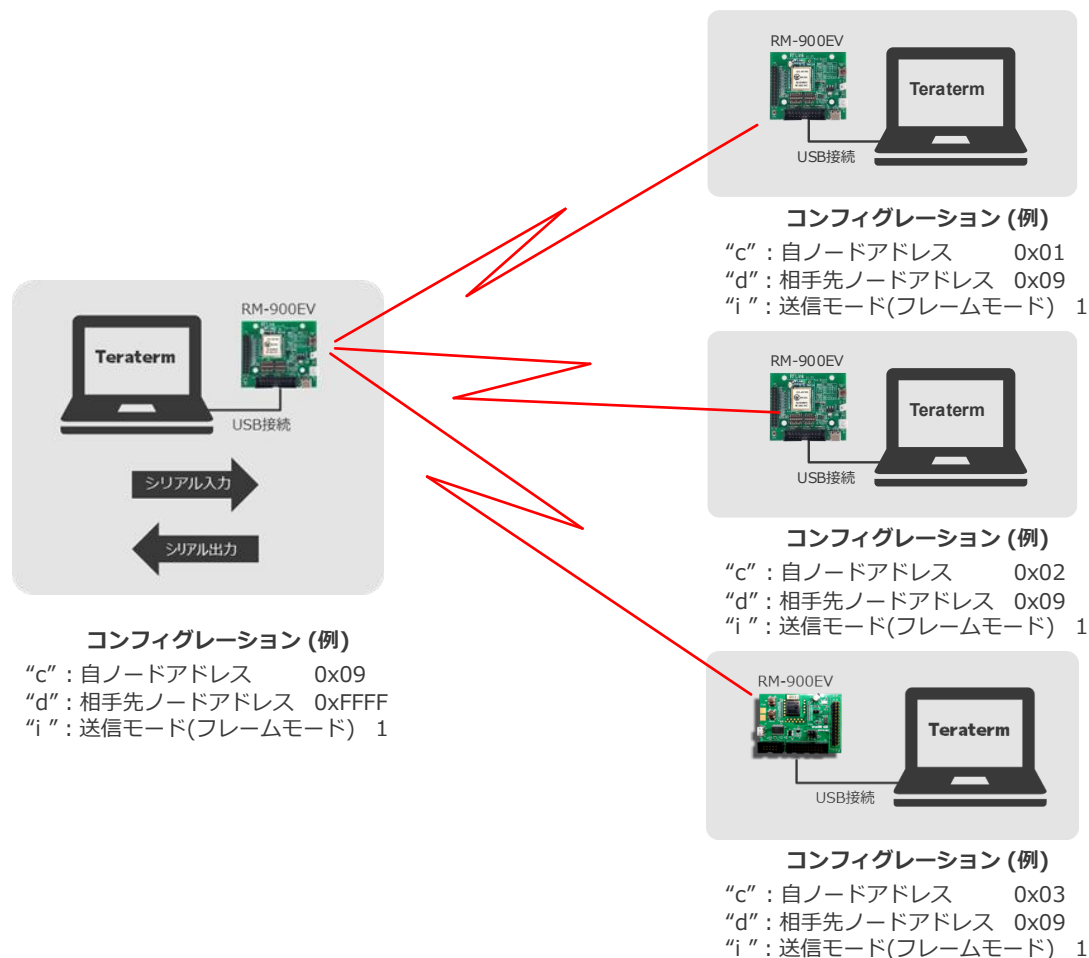
### 1:N通信で、PC～PC間で単純な通信を行う場合の設定例

親機 1 : 子機3の構成で、各キーボードから入力した値をリアルタイムに相互通信します。

親機から子機に対しては、ブロードキャストアドレスで送信します。  
左記コンフィグレーション値以外はデフォルト設定を使用します。  
(CH7/Dischargeモード)

# 10. サンプルプログラムの設定例

## 10.3 コンフィグレーション設定例 ～ 1:Nによる子機指定通信



### 1:N通信で、PC～PC間で指定フォーマットによる通信を行う場合の設定例

親機 1 : 子機3の構成で所定フォーマットのデータを相互通信します。  
親機から子機に対しては、子機アドレスを指定して送信します。

左記コンフィグレーション値以外は、デフォルト設定を使用します。(CH7)  
指定フォーマットについては、「8章 UARTフォーマット」を参照下さい。



# 10. サンプルプログラムの設定例

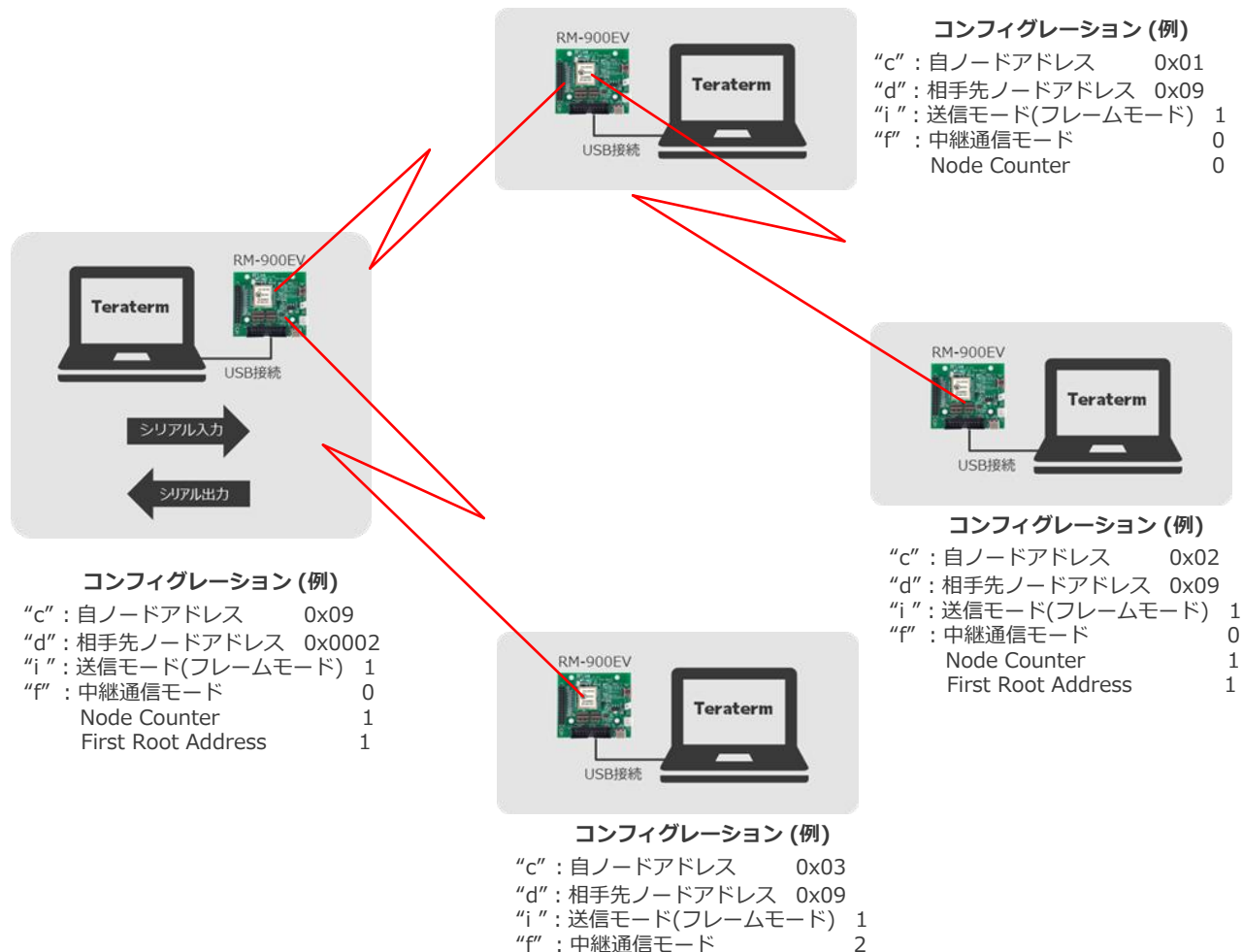
## 10.4 コンフィグレーション設定例 ～ 経路指定通信を含む 1:Nによる子機指定通信

### 1:N通信で、PC～PC間で、経路指定通信を行う場合の設定例

基本構成は、前項と同じです。

“f”コマンドで、Fixactionモードを指定します。

8章の指定フォーマットに従い、最終子機のアドレスを指定してUARTで無線モジュールに送信します。



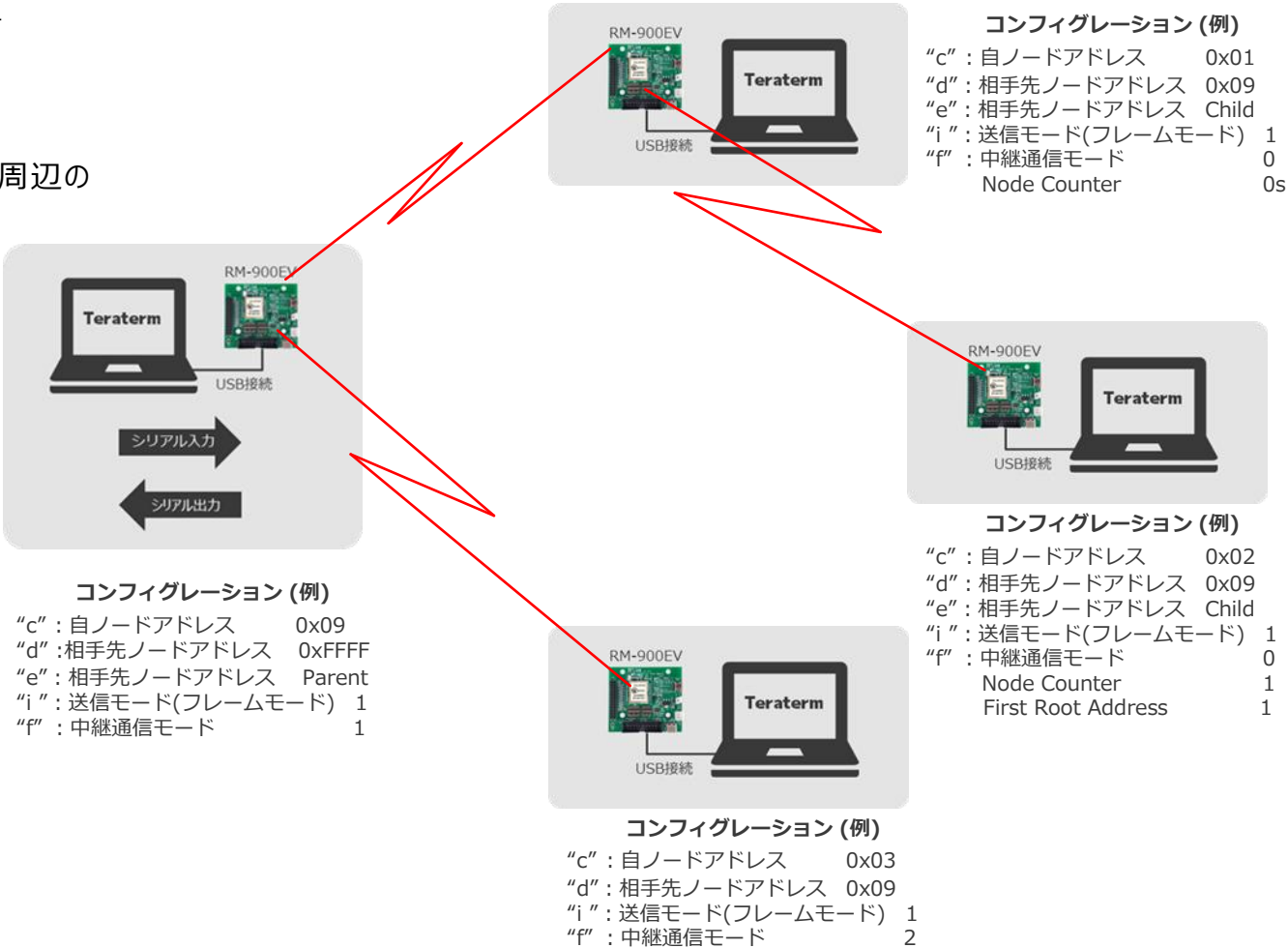
# 10. サンプルプログラムの設定例

## 10.5 コンフィグレーション設定例 ～ Auto Routingによる送信設定

### 自動ルーティング機能によるネットワーク構成を利用する場合の設定例

各子機は、ネットワーク開始後、自動的に親機への接続を試みます。

親機への直接接続が出来なかった場合、親機とネットワーク接続している周辺の子機との接続を試み、ネットワーク経路情報を生成します。



# 10. サンプルプログラムの設定例

## 10.6 中継試験用開発キットの出荷時設定を利用した中継機能の確認方法

中継機用開発キットでは、すぐに中継テストを行うための設定がモジュール内のFlashROMに予め書き込まれた状態で出荷されています。

```
COM40 - Tera Term VT
***** [stack version] *****
NST-429 [429MHz] SimpleMACstd Project [Ver. 1.0.0]
Standard-start Version(Automatic start after 10 seconds)
(CR + LF within 10 seconds during configuration)

***** [Settings] *****
[*]RF Mode : [LORA]
[Ctrl+A]CS RSSI Threshold : [LORA] [-96]
[a]RF-Channel : [7] (Frequency[429250000Hz])
[b]PAN-ID : [Enable] PAN-ID[0x1234]
EXPAND-PAN Address ENABLE : [Disable]
EXPAND-PAN Address : [0x1B 0x00 0x1A 0x00 0x03 0x50
0x53 0x4E 0x4B 0x39 0x34 0x20 ]
[c]SRC-ID : [0x0000]
[d]LAST-DST-ID : [0xFFFF]
[e]Unit Mode : [Parent]
[f]Routing Mode : [Auto-Routing]
[g]RF Settings : Tx-Power [10dBm]
Bandwidth [7.81 kHz]
Factor [SF10]
Error Coding [1: 4/5]
Optimize [1: ON]
[h]Ack Request : [Disable]
[i]Data Mode : [Discharge]
[j]Sleep Mode : [Not Use]
[k]UART BaudRate : [115200bps]
[l]Recv Packet Output : RSSI [Enable]
SRC-Address [Disable]
CR+LF [Enable]
Length [Disable]
Output Code [Binary]
[m]Carrier Sense : [Use]
Retry Count[3]
CS Timeout(msec) [5]
[n]Low Level Noise Filter : [Not Use]
[o]Connect Recv RSSI Threshold : [-137]
[p]Debug Print Output : [ON (TEXT)]
[q]Broadcast Data Hopping Mode : [Unconditional]
[r]AES KEY : [Not Use]
[s]Read Module Type : NST-429
*****
Please input >[]
```

親機の設定画面

```
COM40 - Tera Term VT
***** [stack version] *****
NST-429 [429MHz] SimpleMACstd Project [Ver. 1.0.0]
Standard-start Version(Automatic start after 10 seconds)
(CR + LF within 10 seconds during configuration)

***** [Settings] *****
[*]RF Mode : [LORA]
[Ctrl+A]CS RSSI Threshold : [LORA] [-96]
[a]RF-Channel : [7] (Frequency[429250000Hz])
[b]PAN-ID : [Enable] PAN-ID[0x1234]
EXPAND-PAN Address ENABLE : [Disable]
EXPAND-PAN Address : [0x1B 0x00 0x1A 0x00 0x03 0x50
0x53 0x4E 0x4B 0x39 0x34 0x20 ]
[c]SRC-ID : [0x0001]
[d]LAST-DST-ID : [0x0000]
[e]Unit Mode : [Child]
[f]Routing Mode : [Auto-Routing]
[g]RF Settings : Tx-Power [10dBm]
Bandwidth [7.81 kHz]
Factor [SF10]
Error Coding [1: 4/5]
Optimize [1: ON]
[h]Ack Request : [Disable]
[i]Data Mode : [Discharge]
[j]Sleep Mode : [Not Use]
[k]UART BaudRate : [115200bps]
[l]Recv Packet Output : RSSI [Enable]
SRC-Address [Disable]
CR+LF [Enable]
Length [Disable]
Output Code [Binary]
[m]Carrier Sense : [Use]
Retry Count[3]
CS Timeout(msec) [5]
[n]Low Level Noise Filter : [Not Use]
[o]Connect Recv RSSI Threshold : [-137]
[p]Debug Print Output : [ON (TEXT)]
[q]Broadcast Data Hopping Mode : [Unconditional]
[r]AES KEY : [Not Use]
[s]Read Module Type : NST-429
*****
Please input >[]
```

子機1の設定画面

```
COM40 - Tera Term VT
***** [stack version] *****
NST-429 [429MHz] SimpleMACstd Project [Ver. 1.0.0]
Standard-start Version(Automatic start after 10 seconds)
(CR + LF within 10 seconds during configuration)

***** [Settings] *****
[*]RF Mode : [LORA]
[Ctrl+A]CS RSSI Threshold : [LORA] [-96]
[a]RF-Channel : [7] (Frequency[429250000Hz])
[b]PAN-ID : [Enable] PAN-ID[0x1234]
EXPAND-PAN Address ENABLE : [Disable]
EXPAND-PAN Address : [0x1B 0x00 0x1A 0x00 0x03 0x50
0x53 0x4E 0x4B 0x39 0x34 0x20 ]
[c]SRC-ID : [0x0002]
[d]LAST-DST-ID : [0x0000]
[e]Unit Mode : [Child]
[f]Routing Mode : [Auto-Routing]
[g]RF Settings : Tx-Power [10dBm]
Bandwidth [7.81 kHz]
Factor [SF10]
Error Coding [1: 4/5]
Optimize [1: ON]
[h]Ack Request : [Disable]
[i]Data Mode : [Discharge]
[j]Sleep Mode : [Not Use]
[k]UART BaudRate : [115200bps]
[l]Recv Packet Output : RSSI [Enable]
SRC-Address [Disable]
CR+LF [Enable]
Length [Disable]
Output Code [Binary]
[m]Carrier Sense : [Use]
Retry Count[3]
CS Timeout(msec) [5]
[n]Low Level Noise Filter : [Not Use]
[o]Connect Recv RSSI Threshold : [-137]
[p]Debug Print Output : [ON (TEXT)]
[q]Broadcast Data Hopping Mode : [Unconditional]
[r]AES KEY : [Not Use]
[s]Read Module Type : NST-429
*****
Please input >[]
```

子機2の設定画面

# 11.SimpleMACステータスコード一覧

## 11.1 データ送信リターンステータス一覧表（デバッグ出力ON : TEXT時）

| No | メッセージ                    | 内容         | 説明                                                                                                                                                             |
|----|--------------------------|------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 01 | Send OK                  | 正常送信       |                                                                                                                                                                |
| 02 | Carrier Sense Error      | キャリアセンスエラー | 送信時に-96dBm以上の空中線電力を検知した場合に、指定回数のリトライ検出を行いすべて表示をされるメッセージです。<br>本メッセージ表示後、送信データは破棄されます。                                                                          |
| 03 | Transmit WaitTime Error  | 休止時間エラー    | 前回送信完了後からネットワーク設定に応じた休止時間以内にデータを送信しようとした時に表示されます。<br>本メッセージは、プログラムにより必ず規定値に従った休止するように設定しているため、基本的には表示されることはありませんが、お客様によるプログラム改造等で休止時間が変更された場合などに表示される可能性があります。 |
| 04 | Transmit TotalTime Error | 総和時間エラー    | ネットワークの設定条件により、送信しようとするタイミングから1時間分さかのぼった時の送信時間の総和時間が360秒に達している場合に表示されます。<br>本メッセージが表示された場合、時間をおいて再送信することで表示されなくなります。                                           |

本メッセージは、基本設定メニューの「t」コマンドで、Debug Print Output 設定を ON(TEXT) にした場合に表示されます。

# 11.SimpleMACステータスコード一覧

## 11.2 データ送信リターンステータス一覧表（デバッグ出力ON : CODE時）

| No | ステータスコード | 内容               | 備考                              |
|----|----------|------------------|---------------------------------|
| 1  | 0x0000   | システムスタート         | システム開始時に出力します                   |
| 2  | 0x1000   | 送信完了OK           | 無線送信完了時に出力します。(ACK受信とは関連していません) |
| 3  | 0x1001   | キャリアセンスエラー       |                                 |
| 4  | 0x1002   | 送信後休止時間エラー       |                                 |
| 5  | 0x1003   | 送信総和時間エラー        |                                 |
| 6  | 0x2000   | 受信チェックサムエラー      |                                 |
| 7  | 0x3000   | 自動中継接続完了通知       | 自動中継時のみ                         |
| 8  | 0x3001   | ルーティングテーブル未登録ノード | 自動中継時のみ                         |
| 9  | 0x4000   | ACK受信OK          |                                 |
| 10 | 0x4001   | ACK受信NG (タイムアウト) |                                 |
| 11 | 0x5000   | UARTデータ受信タイムアウト  | フレームモード時のみ                      |
| 12 | 0x5001   | UARTデータフォーマットエラー | フレームモード時のみ                      |

本ステータスコードは、基本設定メニューの「t」コマンドで、Debug Print Output 設定を ON(CODE) にした場合に表示されます。

# 11.SimpleMACステータスコード一覧

## 11.3 ATコマンドモード時の戻り値一覧

| No | ステータスコード | 内容         | 説明                                           |
|----|----------|------------|----------------------------------------------|
| 1  | 0x0000   | 正常応答       | 正常応答時の戻り値です。                                 |
| 2  | 0xE001   | パラメータエラー   | ATコマンド発行時のパラメータ内容が規定外の場合の戻り値です。              |
| 3  | 0xE002   | コマンドコードエラー | 存在しないコマンドを発行した場合の戻り値です。                      |
| 4  | 0xE003   | フォーマットエラー  | データサイズ(LEN)に対する終端コード(0xAA)の位置が一致しない場合の戻り値です。 |
| 5  | 0x009A   | デバイスタイプ    | cmd=0x3002に対する応答で、RM-92A上で動作している場合           |
| 6  | 0x009C   | デバイスタイプ    | cmd=0x3002に対する応答で、RM-92C上で動作している場合           |
| 7  | 0x09C1   | デバイスタイプ    | cmd=0x3002に対する応答で、RM-92C1上で動作している場合          |
| 8  | 0x09C2   | デバイスタイプ    | cmd=0x3002に対する応答で、RM-92C2上で動作している場合          |

# 12.SimpleMAC自動中継機能について

## 12.1 概要

SimpleMACの自動中継機能は、子機から親機にデータを送信する通信経路を無線機が自動計算して経路通信を行う機能です。親機は、ネットワークに参加した子機からデータ受信をすることにより、内部メモリに子機までの経路情報を自動的に保存します。親機のさらに上位にあたるPCやクラウドから子機に対する下りコマンドを送信する際に、保存された経路情報が使用されます。

| 項目                   |                                                                                                                                                                                         |                       |
|----------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 設定CHの範囲              | 7～46                                                                                                                                                                                    |                       |
| 1つのネットワークの定義         | 1つのCH (周波数CH) + 1つのPANアドレスを設定                                                                                                                                                           |                       |
| 1つのCH内のPANの最大数       | 65535 (0～65534)                                                                                                                                                                         |                       |
| 1つのネットワーク内の親機と子機の台数  | 親機 × 1      子機 × 65534                                                                                                                                                                  |                       |
| 子機～親機間の通信ホッピング数      | 最大4ホップ                                                                                                                                                                                  | 送信子機と親機の間に中継子機が3台入ります |
| 親機で記憶可能な経路情報数        | 160経路 (1経路につき、最大3台の中継ノードアドレス)                                                                                                                                                           | 親機のFlashROM容量に依存します   |
| 子機が中継機として動作する場合の接続制限 | 親機からと直接接続している場合 →他の子機からの接続可能台数 3台<br>親機から見て、第2接続位置の時 (自分と親機の間に1台) →他の子機からの接続可能台数 2台<br>親機から見て、第3接続位置の時 (自分と親機の間に2台) →他の子機からの接続可能台数 1台<br>親機から見て、第4接続位置の時 (自分と親機の間に3台) →他の子機からの接続可能台数 0台 |                       |

ネットワークの理論上の接続ノード数は、1つの親機に対して最大65534台の子機を登録可能ですが、RM-92AのFlashROM容量の都合により、親機で記憶可能な経路情報数は160経路情報までとなります。このため、双方向通信が可能な接続可能な子機の台数は、160台です。下り制御が不要な子機がある場合は、理論値まで登録可能です。

# 12.SimpleMAC自動中継機能について

## 12.2 自動中継接続の設定

```
COM40 - Tera Term VT
ファイル(F) 編集(E) 設定(S) コントロール(C) ウィンドウ(W) 漢字コード(K) ヘルプ(H)

***** [stack version] *****
NST-429 [429MHz] SimpleMACstd Project [Ver.1.0.0]
Standard-start Version(Automatic start after 10 seconds)
(CR + LF within 10 seconds during configuration)

***** [Settings] *****
[*]RF Mode : [LORA]
[Ctrl+A]CS RSSI Threshold : LORA [-96]
FSK [-96]
[a]RF-Channel : [7] (Frequency[429250000Hz])
[b]PAN-ID : [Enable] PAN-ID[0x1234]
EXPAND-PAN Address ENABLE : [Disable]
EXPAND-PAN Address : [0x1B 0x00 0x1A 0x00 0x03 0x50
0x53 0x4E 0x4B 0x39 0x34 0x20 ]
[c]SRC-ID : [0x0000]
[d]AST-DST-ID : [0xFFFF]
[e]Unit Mode : [Parent]
[f]Routing Mode : [Auto-Routing]
[g]RF Settings : Tx-Power : [10dbm]
Bandwidth : [7.81 kHz]
Factor : [SF10]
Error Coding : [1: 4/5]
Optimize : [1: ON]
[h]Ack Request : [Disable]
[i]Data Mode : [Discharge]
[j]Sleep Mode : [Not Use]
[k]UART BaudRate : [115200bps]
[l]Recv Packet Output : RSSI : [Enable]
SRC-Address : [Disable]
CR+LF : [Enable]
Length : [Disable]
Output Code : [Binary]
[m]Carrier Sense : [Use]
Retry Count[3]
CS Timeout(msec) [5]
[q]Low Level Noise Filter : [Not Use]
[r]Connect Recv RSSI Threshold : [-137]
[t]Debug Print Output : [ON (TEXT)]
[w]Broadcast Data Hopping Mode : [Unconditional]
[n]AES KEY : [Not Use]
[.]Read Module Type : NST-429
*****
Please input >[ ]
```

親機設定の例

```
COM40 - Tera Term VT
ファイル(F) 編集(E) 設定(S) コントロール(C) ウィンドウ(W) 漢字コード(K) ヘルプ(H)

***** [stack version] *****
NST-429 [429MHz] SimpleMACstd Project [Ver.1.0.0]
Standard-start Version(Automatic start after 10 seconds)
(CR + LF within 10 seconds during configuration)

***** [Settings] *****
[*]RF Mode : [LORA]
[Ctrl+A]CS RSSI Threshold : LORA [-96]
FSK [-96]
[a]RF-Channel : [7] (Frequency[429250000Hz])
[b]PAN-ID : [Enable] PAN-ID[0x1234]
EXPAND-PAN Address ENABLE : [Disable]
EXPAND-PAN Address : [0x1B 0x00 0x1A 0x00 0x03 0x50
0x53 0x4E 0x4B 0x39 0x34 0x20 ]
[c]SRC-ID : [0x0001]
[d]AST-DST-ID : [0x0000]
[e]Unit Mode : [Child]
[f]Routing Mode : [Auto-Routing]
[g]RF Settings : Tx-Power : [10dbm]
Bandwidth : [7.81 kHz]
Factor : [SF10]
Error Coding : [1: 4/5]
Optimize : [1: ON]
[h]Ack Request : [Disable]
[i]Data Mode : [Discharge]
[j]Sleep Mode : [Not Use]
[k]UART BaudRate : [115200bps]
[l]Recv Packet Output : RSSI : [Enable]
SRC-Address : [Disable]
CR+LF : [Enable]
Length : [Disable]
Output Code : [Binary]
[m]Carrier Sense : [Use]
Retry Count[3]
CS Timeout(msec) [5]
[q]Low Level Noise Filter : [Not Use]
[r]Connect Recv RSSI Threshold : [-137]
[t]Debug Print Output : [ON (TEXT)]
[w]Broadcast Data Hopping Mode : [Unconditional]
[n]AES KEY : [Not Use]
[.]Read Module Type : NST-429
*****
Please input >[ ]
```

子機設定の例



# 12.SimpleMAC自動中継機能について

## 12.3 自動中継接続の仕組み

### 子機の動作

- ① 電源投入後、親機に対して「直接接続要求(@REQ)」を発行。
- ② 親機から「直接接続要求応答(@SET)」を受信した場合、親機との直接接続完了。
- ③ 親機から「直接接続要求応答(@SET)」が一定時間(10秒)受信できなかった場合、周辺の子機に対して、「ネットワーク参加要求(@BCN)」を発行。
- ④ 周辺子機でネットワーク参加済みの子機が「ネットワーク参加要求(@BCN)」を受信した場合、「ネットワーク参加要求応答(@BCA)」を発行。  
その際、@BCAコマンドを発行するノードの下記情報を付加して@BCAを発行します。
  - ・@BCA発行元のノードID
  - ・親機との接続情報
  - ・周辺子機との接続情報
  - ・自ノードと直接接続しているノードとの電波受信強度値
- ⑤ 周辺子機から「ネットワーク参加要求応答(@BCA)」を受信した場合、@BCA発行元との電波受信強度値 と ④で受信するネットワーク情報をもとに総合的判断によって、1つの@BCA発行元の子機を選択し、そのノードに対して「接続登録要求(@REG)」を発行します。
- ⑥ 一度確立したネットワークが何らかの原因によって途絶え、データ送信に対する「データ到達ACK(@ACK)」が受信できなくなった場合、所定回数リトライ処理を行います。
- ⑦ 所定回数のリトライ実行しても、「データ到達ACK(@ACK)」が受信できない場合、ネットワーク情報を破棄して、①～⑤の処理を繰り返します。

# 12.SimpleMAC自動中継機能について

## 12.3 自動中継接続の仕組み

### 親機の動作

①電源投入後、子機からの「直接接続要求応答(@SET)」を受信した場合、「直接接続要求応答(@SET)」を返信します。

ネットワーク層で行うのはここまでのです。

親機は、親機から子機への通信経路情報を自動的には把握できません。

ネットワーク接続した子機が参加完了後に親機宛にダミーデータを送信することによって、親機内の記憶領域へ自動的に経路情報が保存されます。

親機の上位 (PC、クラウド等) から、任意の子機宛に下りデータを送信する際に経路情報が利用されます。

# 12.SimpleMAC自動中継機能について

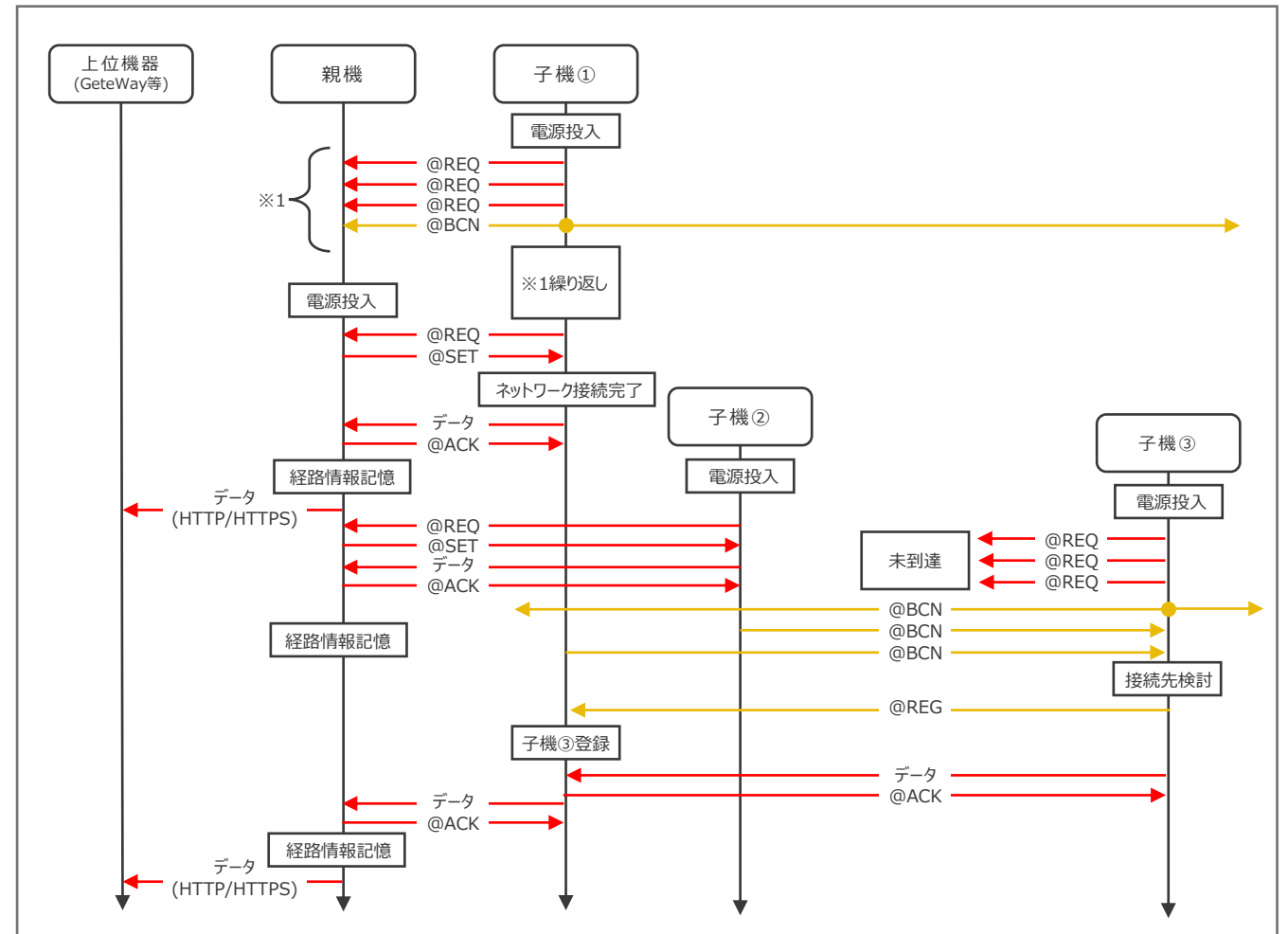
## 12.4 自動中継接続通信イメージ

### 説明

左図の例は、3台の子機と1台の親機がそれぞれ任意のタイミングで電源が投入された場合の接続イメージです。

### コマンド説明

|      |     |                      |
|------|-----|----------------------|
| @REQ | ... | 子機から親機に対する直接接続要求     |
| @SET | ... | 親機から子機への接続応答         |
| @BCN | ... | 子機から周辺の子機に対する接続要求    |
| @BCA | ... | 周辺子機から接続要求元の子機に対する応答 |
| @REQ | ... | 周辺子機に対する登録決定         |
| @ACK | ... | データ受け取りACK           |



# 12.SimpleMAC自動中継機能について

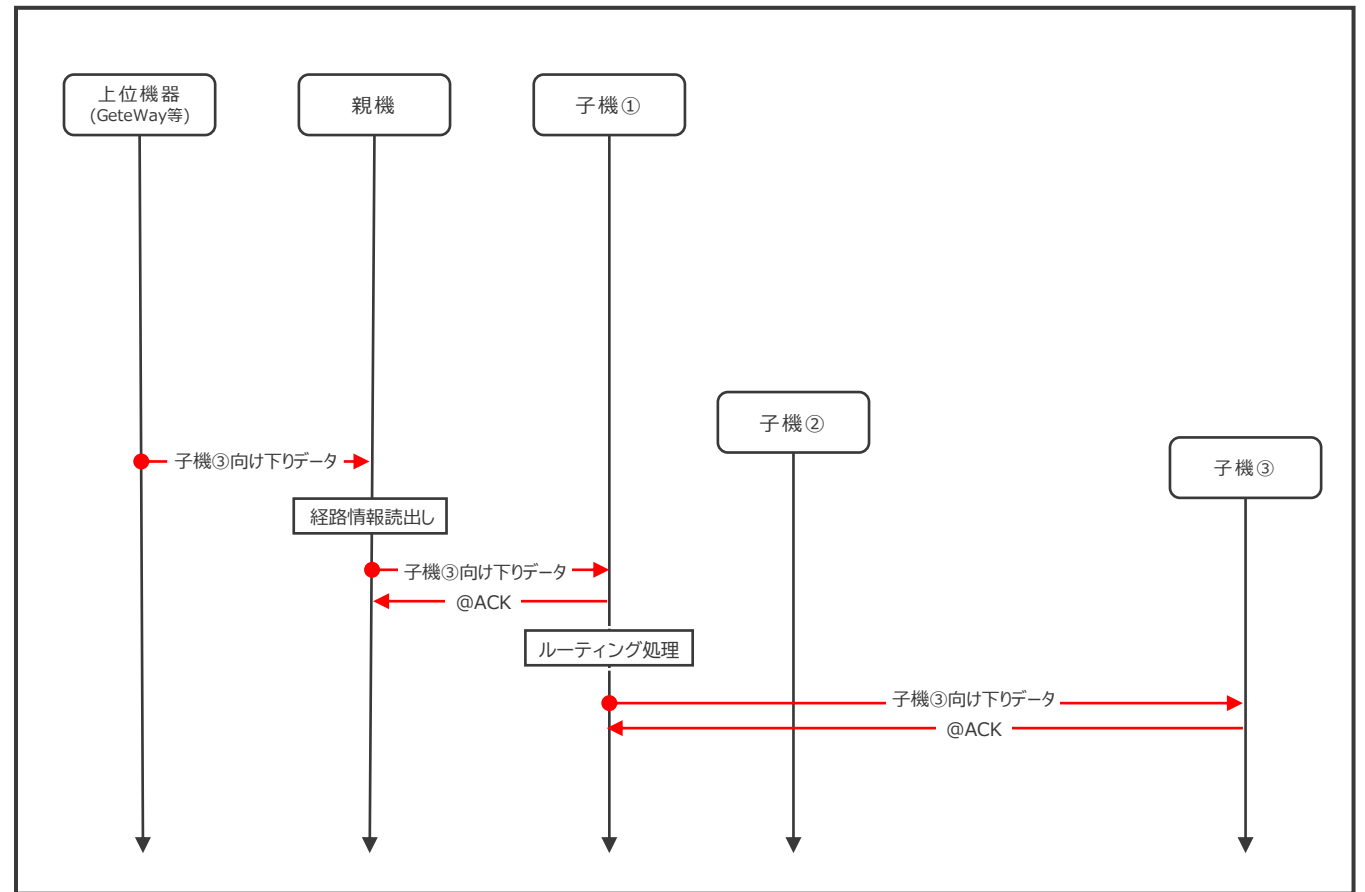
## 12.5 自動中継による下り通信イメージ

### 説明

左図の例は、子機③が自動中継接続された後で上位から子機③に対して下りデータを送信する時のイメージです。

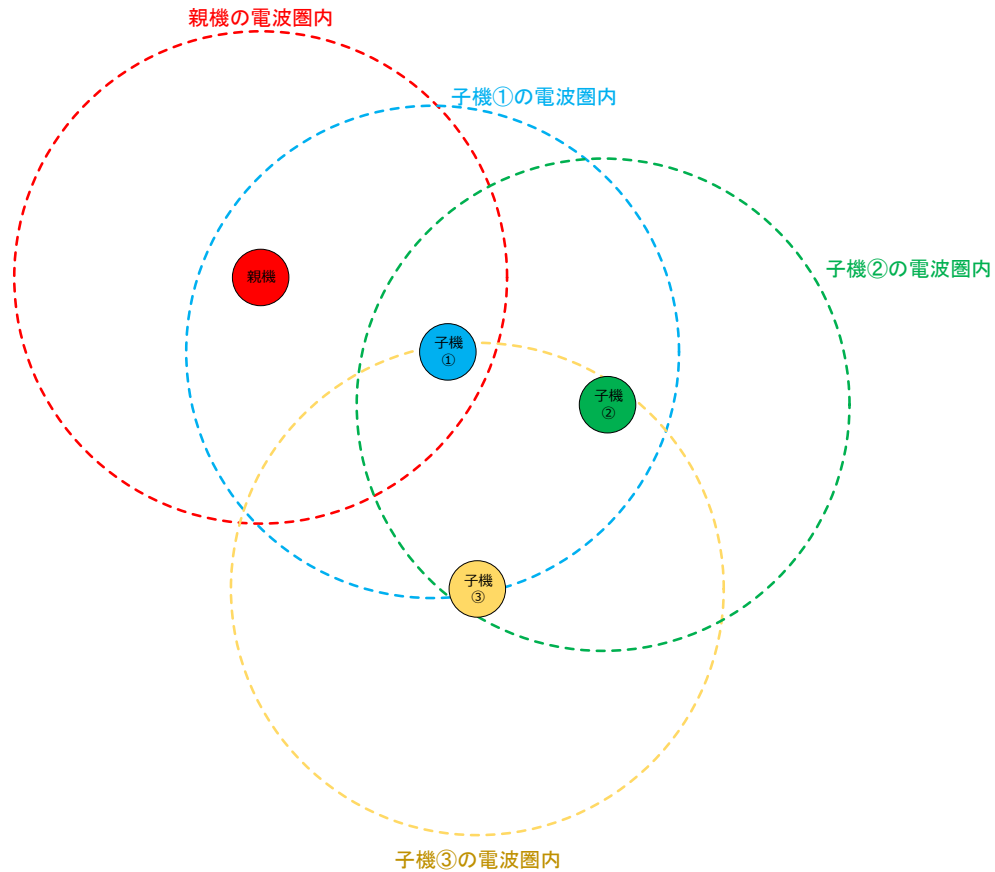
### コマンド説明

@ACKデータ ... 受け取りACK



# 12.SimpleMAC自動中継機能について

## 12.6 自動中継接続概念図



### 説明

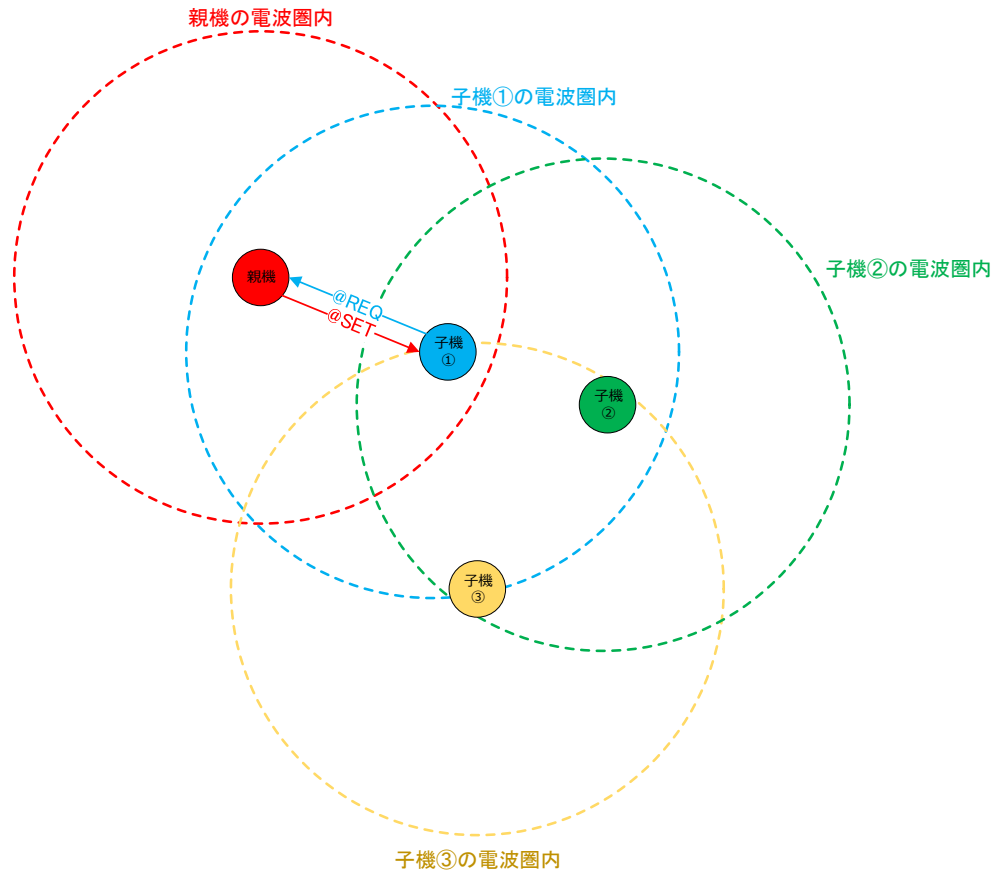
左図の例は、1台の親機と3台の子機で構成するネットワーク概念図です。

親機の電波圏内には、子機①だけが含まれています。

子機①の電波圏内には、子機②と子機③が含まれますが、子機①に対して子機②の方が近い距離にいます。

# 12.SimpleMAC自動中継機能について

## 12.7 自動中継接続概念図・子機①から親機への接続要求



### 説明

左図の例は、子機①に電源が投入された場合の動作を示しています。

子機①は、電源投入後、親機に対して接続要求(@REQ)を発行します。

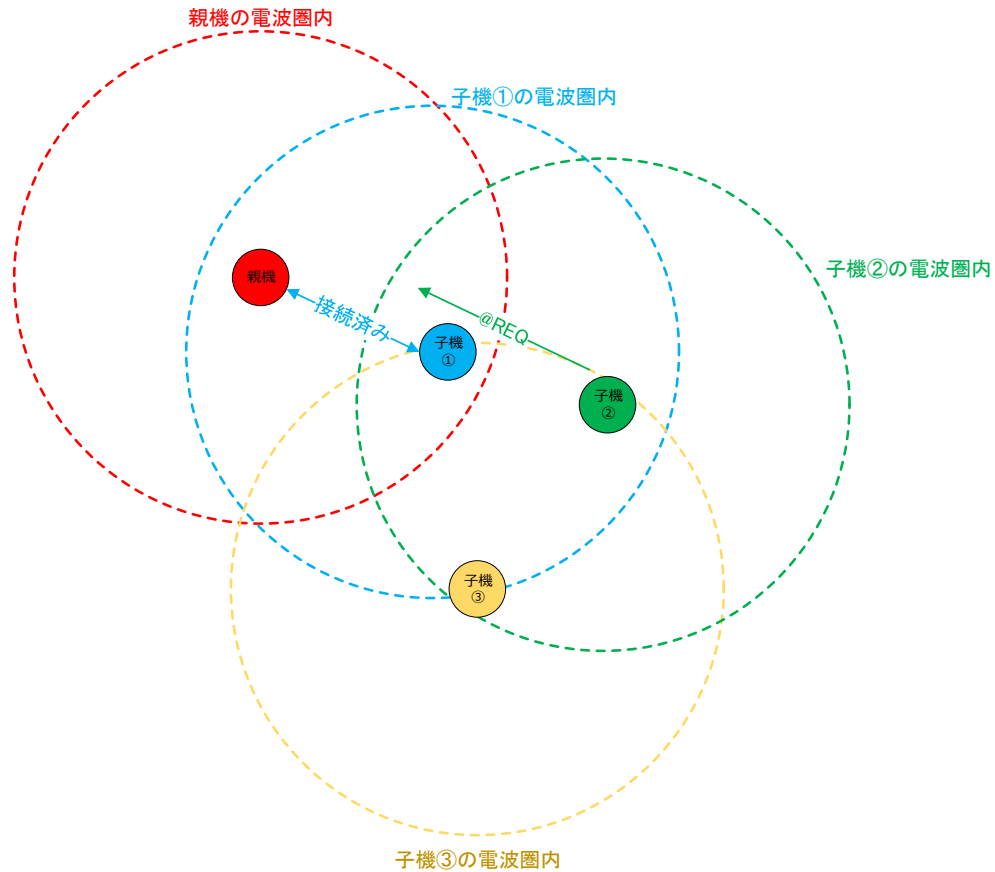
親機は、@REQを受信すると、発行元の子機①に対して、接続応答(@SET)を返信します。

以上で、子機①と親機との接続が完了します。

※子機②と子機③の電源は入っていないものとして、説明しています。

# 12.SimpleMAC自動中継機能について

## 12.8 自動中継接続概念図・子機②の電源ONから親機への接続要求



### 説明

左図の例は、子機②に電源が投入された場合の動作を示しています。

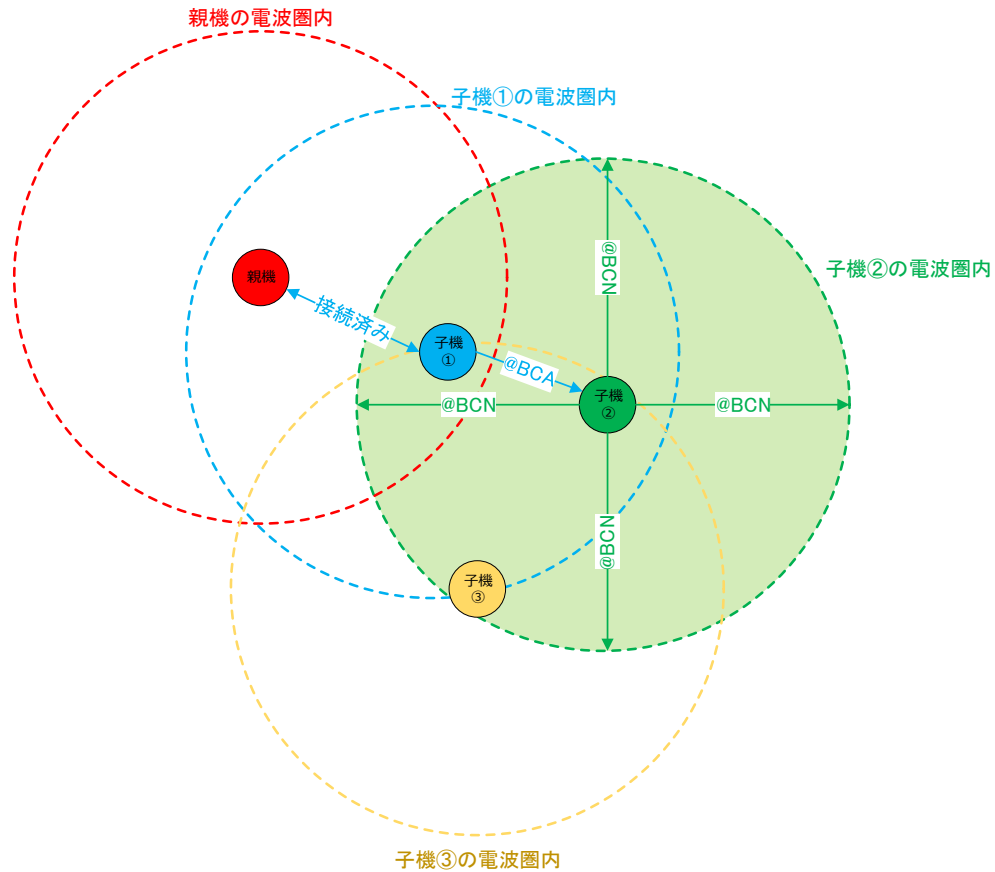
子機②は、電源投入後、親機に対して接続要求(@REQ)を発行します。

しかし、子機②は親機の圏外であるため、親機からの応答は受け取れない状態を表しています。

※この時子機②に設定したリトライを所定回数実施されます。

# 12.SimpleMAC自動中継機能について

## 12.9 自動中継接続概念図・子機②の電源ON



### 説明

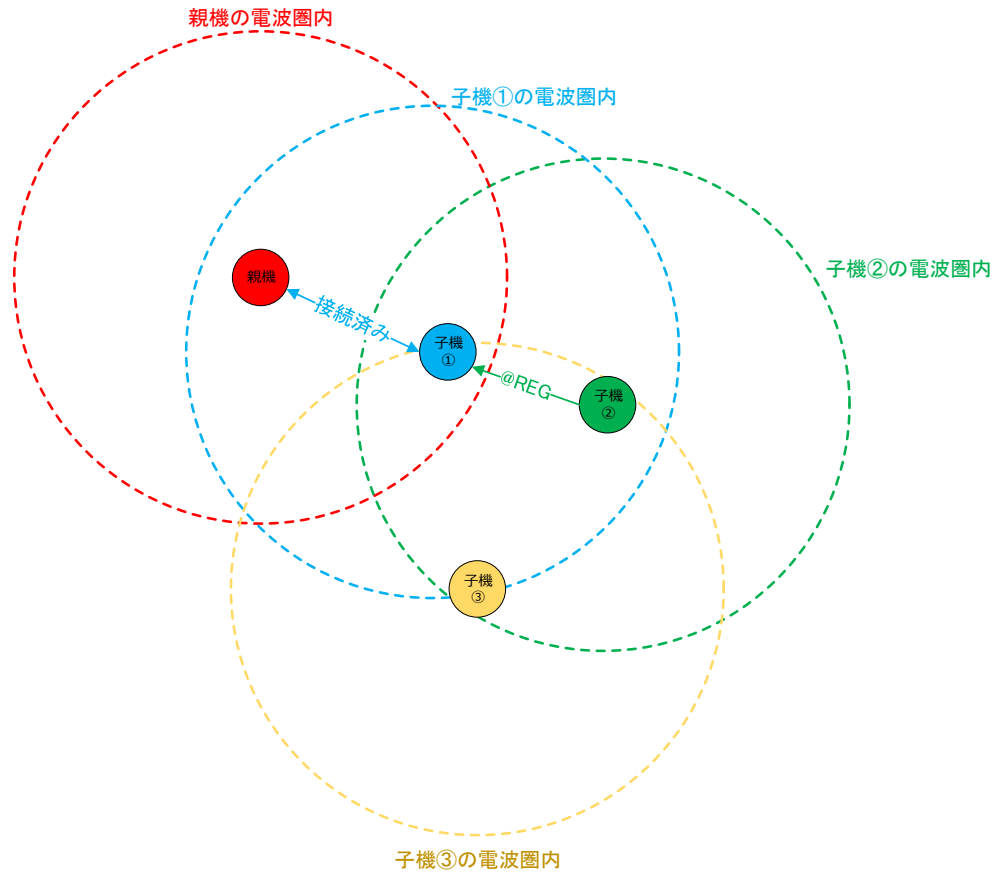
左図の例は、子機②から周辺子機に対する周辺検索(@BCN)が発行されたことを表しています。

子機②からの周辺検索(@BCN)に対して、子機①が接続応答(@BCA)を返信します。子機③は、この時点で電源が入ってないので、応答は返送されません。



# 12.SimpleMAC自動中継機能について

## 12.10 自動中継接続概念図・子機②のネットワーク参加完了



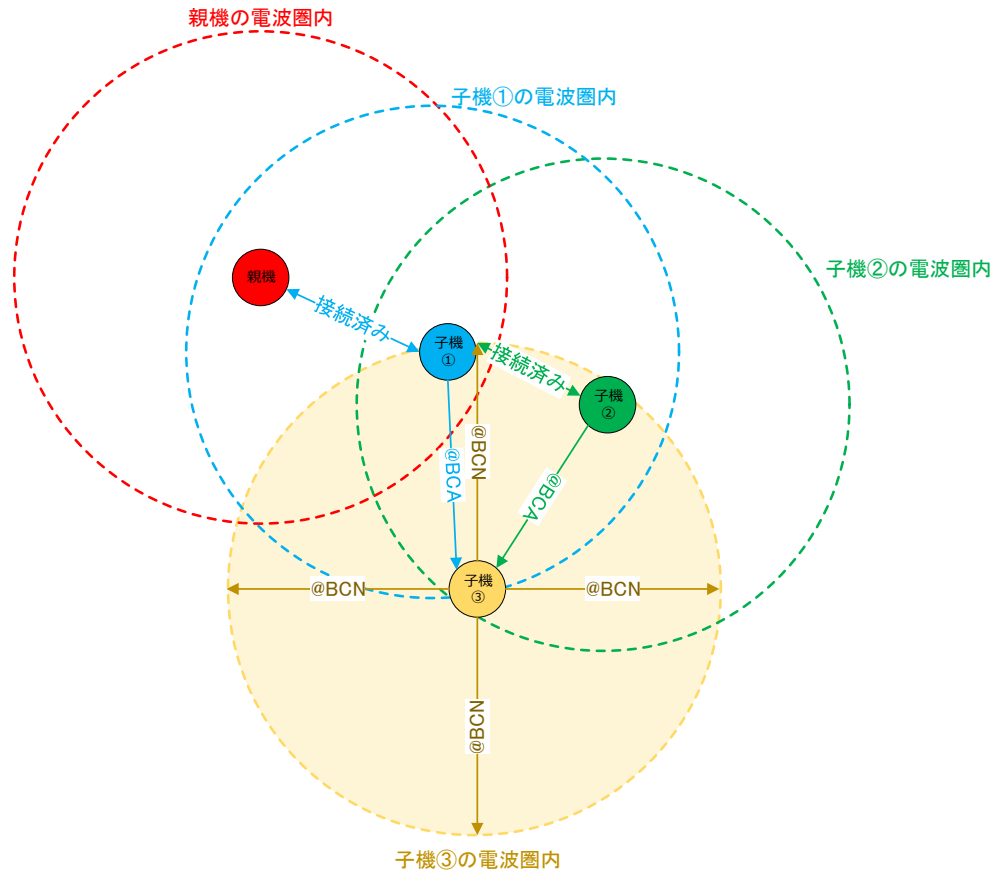
### 説明

左図の例は、子機①からの接続応答(@BCA)に対して、子機②の判断により子機①に対して接続登録(@REG)を送信している状態を表しています。

以上で、子機②は子機①を通してネットワーク参加が完了します。

# 12.SimpleMAC自動中継機能について

## 12.11 自動中継接続概念図・子機③の電源ON



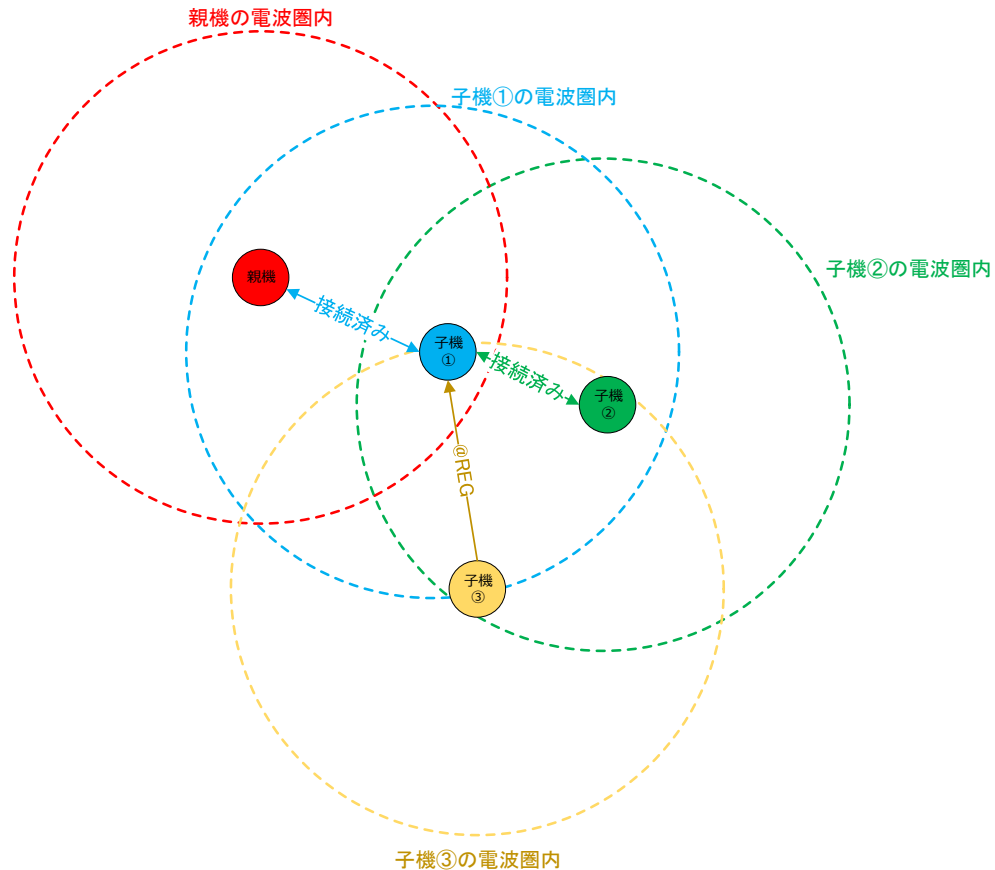
### 説明

左図の例は、子機③から周辺子機に対する、  
周辺検索(@BCN)が発行されたことを表しています。

子機②からの周辺検索(@BCN)に対して、  
子機①と子機②が接続応答(@BCA)を返信します。

# 12.SimpleMAC自動中継機能について

## 12.12 自動中継接続概念図・子機③のネットワーク参加完了



### 説明

左図の例は、子機①と子機②からの接続応答 (@BCA) に対して、子機③の判断により子機①に対して接続登録 (@REG) を送信している状態を表しています。

子機③は、子機①と子機②のネットワーク接続条件から、親機への接続ネスト数が少ない子機①を選択しています。

以上で、子機③は子機①を通してネットワーク参加が完了します。

この時点で、子機①は、子機②と子機③の2台を孫機として接続することになります。

# 13. 自動起動時の出力ダンプメッセージ詳細説明

SimpleMACでは、設定で Debug message を有効(ON:TEXT、又は ON:CODE)にしていた場合、ネットワーク設定情報がDumpイメージでシリアル出力されます。  
任意に設定した情報が正しく反映されているか等、ユーザーがチェックする場合にDumpメッセージ内容を確認することが出来ます。

本章では、Dumpメッセージでユーザーが設定可能なパラメータ項目に対する、Dumpメッセージと紐づいている箇所の説明をします。

## 実際のシリアル出力イメージ

Setting menu display = CR (wait for 10 seconds)

EEPROM Read Data --->

0A 00 06 AE 03 12 34 00 01 0D 18 00 00 00 00 2B  
7E 15 16 28 AE D2 A6 AB F7 15 88 09 CF 4F 3C 02  
00 00 00 00 01 00 01 00 00 00 13 88 02 00 00 00  
03 E8 00 00 00 00 00 0A 00 00 00 0A 01 01 00  
00 0D 36 DF 3D C0 00 01 C2 00 00 00 00 00 00 00  
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00  
00 C3 50 01 00 00 01 01 00 01 FF 77 00 00 13 88  
00 00 13 88 00 00 00 80 01 00 98 54 67 AB 09 00  
F6 FF 03 BA FC 45 00 01 00 01 00 00

上記値は、出荷時の標準設定値です。

以下は、説明用に各項目について座標を割り当てた表です。次ページに項目別の説明を記載します。  
黄色くマークされた部分が、ユーザーがシリアル設定メニューで設定した数値です。

| 座標 | 0  | 1  | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| A  | 0A | 00 | 06 | AE | 03 | 12 | 34 | 00 | 01 | 0D | 18 | 00 | 00 | 00 | 00 | 2B |
| B  | 7E | 15 | 16 | 28 | AE | D2 | A6 | AB | F7 | 15 | 88 | 09 | CF | 4F | 3C | 02 |
| C  | 00 | 00 | 00 | 00 | 01 | 00 | 01 | 00 | 00 | 00 | 13 | 88 | 02 | 00 | 00 | 00 |
| D  | 03 | E8 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 0A | 00 | 00 | 00 | 0A | 01 | 01 | 00 |
| E  | 00 | 0D | 36 | DF | 3D | C0 | 00 | 01 | C2 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 |
| F  | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 |
| G  | 00 | C3 | 50 | 01 | 00 | 00 | 01 | 01 | 00 | 01 | FF | 77 | 00 | 00 | 13 | 88 |
| H  | 00 | 00 | 13 | 88 | 00 | 00 | 00 | 80 | 01 | 00 | 98 | 54 | 67 | AB | 09 | 00 |
| I  | F6 | FF | 03 | BA | FC | 45 | 00 | 01 | 00 | 01 | 00 | 00 |    |    |    |    |

※黄マーク以外の値については非公開とさせていただきます。

# 13. 自動起動時の出力ダンプメッセージ詳細説明

以下は、説明用に各項目について座標を割り当てた表です。次ページに項目別の説明を記載します。

| 縦軸  | 横軸        | 説明                                                         |
|-----|-----------|------------------------------------------------------------|
| A   | 0         | 変調のFactor設定 (0:SF6 1:SF7 2:SF8 3:SF9 4:SF10 5:SF11 6:SF12) |
|     | 1         | 送信変調帯域幅設定 (0:125kHz 1:250kHz 2:500kHz)                     |
|     | 2         | UARTボーレート設定                                                |
|     | 4         | キャリアセンスリトライ回数 (0:リトライしない 1~9:リトライ回数)                       |
|     | 5,6       | PAN-ID                                                     |
|     | 7,8       | 自身ID                                                       |
|     | 9         | RF出力電力 (0:20mW[+13dBm] 1:4mW[+6dBm] 2:1mW[+0dBm])          |
|     | 10        | 通信チャンネル (24~61)                                            |
|     | 11,12     | 最終宛て先ID                                                    |
| B   | 15        | 中継有無設定 (0:固定中継 1:自動中継 2:非中継)                               |
| C   | 4         | 親子モード設定 0:親機 1:子機                                          |
|     | 5         | ACK要求有無                                                    |
|     | 6         | 送信時間総和有無設定処理 (0:処理しない 1:処理する)                              |
|     | 7         | 送信休止時間設定処理 (0:休止無し 1:2msec 2:50msec 3:送信時間の10倍)            |
|     | 8,9,10,11 | ACK応答タイムアウト                                                |
|     | 12        | ACK無応答時リトライ送信回数                                            |
|     | 13        | データ送信モード                                                   |
| C,D | 14,15,0,1 | タイマー送信モード 送信間隔                                             |
| D   | 3         | スリープ有効フラグ (0:スリープしない 1:スリープする)                             |
|     | 5,6,7,8   | スリープタイマー時間                                                 |
|     | 13        | 受信時RSSI出力                                                  |
|     | 14        | PAN-IDアドレス有効                                               |
|     | 15        | 受信時送信元ID出力                                                 |

| 縦軸  | 横軸       | 説明                                 |
|-----|----------|------------------------------------|
| E   | 0        | キャリアセンスディセーブル (0:Enable 1:Disable) |
|     | 10,11    | 固定中継用 ホップ数                         |
|     | 12,13    | 固定中継用 中継1                          |
|     | 14,15    | 固定中継用 中継2                          |
| F   | 0,1      | 固定中継用 中継3                          |
|     | 14       | FSK送信モードフラグ                        |
| F,G | 15,0,1,2 | FSKビットレート                          |
| G   | 3        | RTC LSI<-->LSE 切替フラグ               |
|     | 4        | AES暗号化有無                           |
|     | 6        | LORAエラーコーディング                      |
|     | 7        | LORAオプティマイズ                        |
|     | 8        | 低レベルチャンネルノイズフィルタ                   |
|     | 9        | 改行コード出力有無                          |
| H   | 10,11    | 中継接続RSSI閾値(親機のみ)                   |
|     | 8        | デバッグ出力有無                           |
|     | 9        | PANID有効/無効                         |
| I   | 6        | 受信データ長出力有無                         |
|     | 7        | ブロードキャストホッピングモード                   |
|     | 8        | 受信データ出力コード設定(バイナリorBCD)            |
|     | 11       | FSKホワイトニング有効/無効                    |

# SimpleMAC-std/std3・取り扱い説明書



資料名：SimpleMAC-std/std3・取り扱い説明書

〒150-6018  
東京都渋谷区恵比寿4-20-3 恵比寿ガーデンプレイス18F  
株式会社アールエフリンク